

無限 MUGEN

74400-XPC -K0S0 REAR OVER FENDER

取付・取扱説明書

この度は、無限製品をお買い上げ頂きありがとうございます。
本書をよくお読みになり、お取り付けくださいますようお願い申し上げます。
取り付け後は、本書を必ずお客様にお渡しください。

お取り付けの前に

- ・ 開梱後は、構成部品表を参照し梱包物に不足や破損がないことを確認してください。
- ・ 取り付け前に、適合車種を確認してください。

〈適合車種〉

Super-ONE ZAA-JG6

〈色記号〉

無限色	ホンダ色記号	色名
ZZ	—	未塗装

- ・ 本製品と75300-XPC -K0S0 SIDE GARNISHを同時装着する場合は、必ず本製品から取り付けを行ってください。
- ・ 本製品の改造、取り付け不良、誤使用により発生した不具合や事故等について弊社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。

製品についてのご質問やご不明な点がございましたら下記までご連絡ください。

株式会社 M-TEC 商品事業部

〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町2-15-11

TEL. 048-462-3131 FAX. 048-462-3121

営業時間 10:00~12:00, 13:00~17:00 (土日・祝日・弊社指定定休日を除く)

安全上のご注意

取り付け作業および使用されるお客様が傷害を負う可能性があることや、取り付け作業に関するアドバイスなどを下記の表示を使用し説明しています。

⚠ 危険

指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの

⚠ 警告

指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの

⚠ 注意

指示に従わないと、傷害を負う可能性があるもの

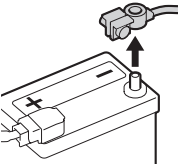
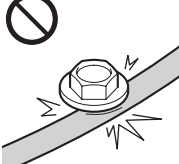
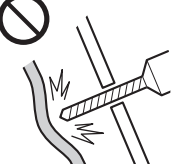

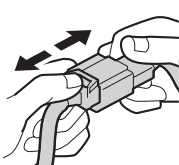
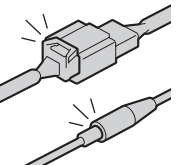
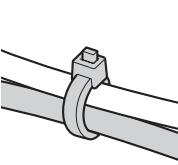
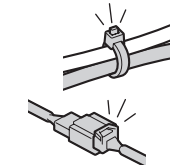

アドバイス

車両または製品の故障や破損を防ぐためのアドバイス、知っておいていただきたいこと



禁止事項

電装作業に関するご注意

 <p>ショート防止のため、バッテリーのマイナス端子を必ず外すこと</p>	 <p>ボルトやナットを締め付ける際は、ハーネスを噛み込んだり、傷を付けないこと</p>	 <p>穴をあける際は、裏側の部品に傷を付けないこと</p>
 <p>断線やコネクタが外れる恐れがあるため、ハーネスを強く引っ張らないこと</p>	 <p>コネクタの接続を外す際は、コネクタ本体を持ってロックを外すこと</p>	 <p>コネクタやターミナル端子の接続は、ロックするまで確実に差し込むこと</p>
 <p>ハーネスはたるまないように固定し、結束バンドの余長をカットすること</p>	 <p>バッテリーのマイナス端子を接続する前に、取り付けに不良がないことを再度確認すること</p>	 <p>作業完了後、車両のランプやワイパー等の電装システムが正常に作動することを確認すること</p>

■ 取り付け作業者および使用されるお客様へのご注意

▲ 警告

- ・リア オーバー フェンダーが事故や接触により破損や変形した場合は、ただちに交換するか取り外してください。そのままの状態での走行は、事故発生の原因となる恐れがあります。

アドバイス

【FRPゲルコート仕上げ製品の特徴】

FRPゲルコート仕上げの製品は複雑な形状を製造するのに適した製品です。そのためABS、PPE樹脂製塗装済み製品とは取り扱い方が異なります。車両や製品の個体差等により塗装前にフィッティングの確認、取り付け穴などの修正および製品表面の面出しや製法上発生する傷などの修正等の下地処理が必要となりますので予めご了承ください。

- ・塗装の前に必ず車両への仮付けを行い、無理なく取り付けが出来ることを確認してください。
- ・取り付け穴および車両部品とのフィッティングの調整を行ってください。車両や製品の個体差等で修正が必要になる場合があります。
- ・製造工程上、製品表面にヤスリ跡、合わせ面の補修や修正跡、ゲルコート表面の細かい凹凸があります。塗装前に必ず下地処理を行ってください。
- ・ゲルコート仕上げ状態のままでは使用出来ません。製品を確認のうえ、面出し作業や足付け作業などの下地処理を行い塗装を行ってください。特に、割型面部はピンホールが発生しやすいため、必要に応じてパテ修正、面出し等の下地処理を行ってください。
- ・製法上、FRPゲルコート仕上げ製品はABS、PPE樹脂製塗装済み製品と同等の面品質が出ない場合がありますので予めご了承ください。
- ・乾燥は、常温乾燥を推奨いたします。強制乾燥での上限温度は40℃、加熱時間は20～30分です。上限温度および設定時間以上に加熱すると変形する場合がありますのでご注意ください。
- ・その他につきましては塗料メーカーの取扱説明書に従い、有機溶剤中毒および引火事故等の危険防止に努め、作業を行ってください。
- ・本製品の取り付け、純正部品の取り外しおよび取り付けは、サービス マニュアルと本書に従ってください。また、作業はホンダ ディーラーや自動車整備工場で行ってください。
- ・作業環境として20℃以上の温度を保ち、ほこりのたたない場所での作業を推奨します。
- ・両面テープの接着不良を防ぐため、取り付け後24時間は、雨・水などで濡れないようご注意ください。
- ・自動洗車機での洗車は避けてください。リア オーバー フェンダーに無理な力が加わり、破損の原因となる恐れがあります。
- ・定期的に締結部品のゆるみやガタ、両面テープの剥がれがないことを点検し、取り付け状態を確認してください。

■ 構成部品表

No.	部品イメージ	部品名称	数量	備考
①		左リア フェンダー ガーニッシュ	1	
②		右リア フェンダー ガーニッシュ	1	
③		左リア バンパー ガーニッシュ	1	
④		右リア バンパー ガーニッシュ	1	
⑤		左リア ドア ガーニッシュ	1	
⑥		右リア ドア ガーニッシュ	1	
⑦		クリップA	4	
⑧		クリップB	4	
⑨		グロメット	2	仕様により余ります

No.	部品イメージ	部品名称	数量	備考
⑩		両面テープ（細）	1	
⑪		両面テープ（太）	5	計13 m分になります
⑫		保護テープ	1	
⑬		クッション	2	
⑭		シール	14	
⑮		型紙	6	
⑯		WEB取説ご案内シート	1	

必要工具/用具

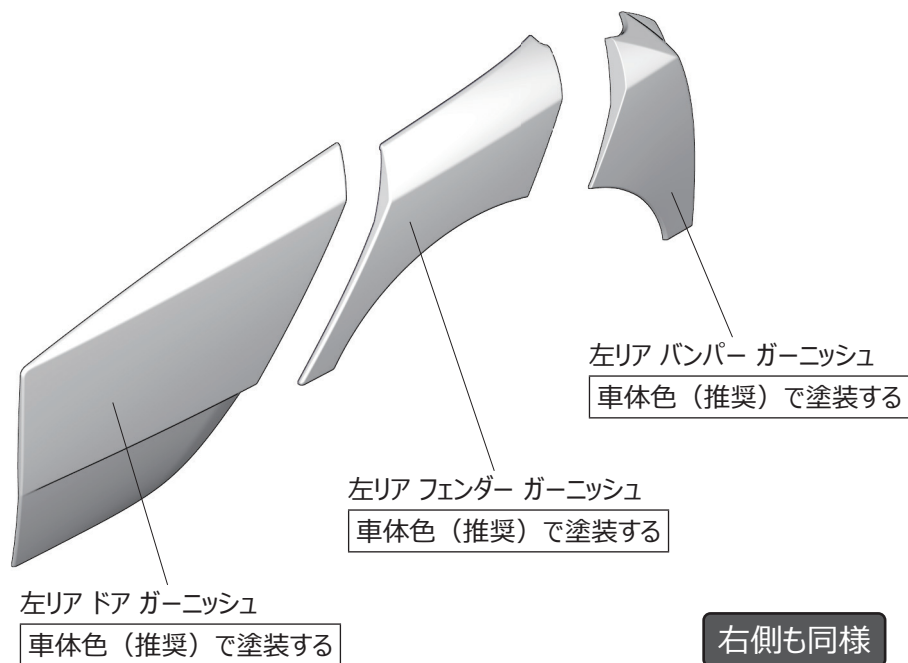
- ・ クリップリムーバー
- ・ ラチェット レンチ
- ・ ドリル刃 Φ3、Φ6、Φ10、Φ14
- ・ カッター
- ・ イソプロピル アルコール
- ・ プラス スタビ ドライバー
- ・ ソケット レンチ 8 mm、10 mm
- ・ トルク レンチ
- ・ マスキング テープ
- ・ ウェス
- ・ スパナ 10 mm
- ・ ドリル
- ・ ハサミ
- ・ キリ
- ・ スケール

リア オーバー フェンダーの塗装

1. 左リア ドア ガーニッシュ、左リア フェンダー ガーニッシュ、左リア バンパー ガーニッシュを塗装する。

アドバイス

- 乾燥は、常温乾燥を推奨。
【推奨塗料】2液性アクリル ウレタン樹脂塗料（常温乾燥タイプ）
- 強制乾燥での上限温度は40℃、加熱時間は20～30分です。上限温度および設定時間以上に加熱すると変形する可能性があるため、注意すること。
- 塗料メーカーの取扱説明書に従い有機溶剤中毒及び引火事故等の危険防止に努め、作業を行うこと。
- 遠赤外線機でのスポット乾燥は行わないこと。
- 製品ラベルにマスキング テープを貼り付けてから塗装すること。



■ 車両部品の取り外し

アドバイス

- 作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。

2. バッテリーのマイナス端子を外し、放置する。(サービス マニュアル参照)

3. 車両をリフト アップまたはジャッキ アップする。(サービス マニュアル参照)

▲ 危険

- ジャッキ アップの際は、リジット ラックを使用し、車両が安全な状態であることを確認すること。

4. 以下の内容を確認する。

- | | |
|--------------------|------|
| ・ 無限サイド ガーニッシュ非装着車 | 手順5へ |
| ・ 無限サイド ガーニッシュ装着車 | 手順6へ |

5. 左サイド シル ガーニッシュと右サイド シル ガーニッシュを取り外す。(サービス マニュアル参照)

手順8へ

6. 左サイドシルガーニッシュと右サイドシルガーニッシュを取り外す。(サービスマニュアル参照)

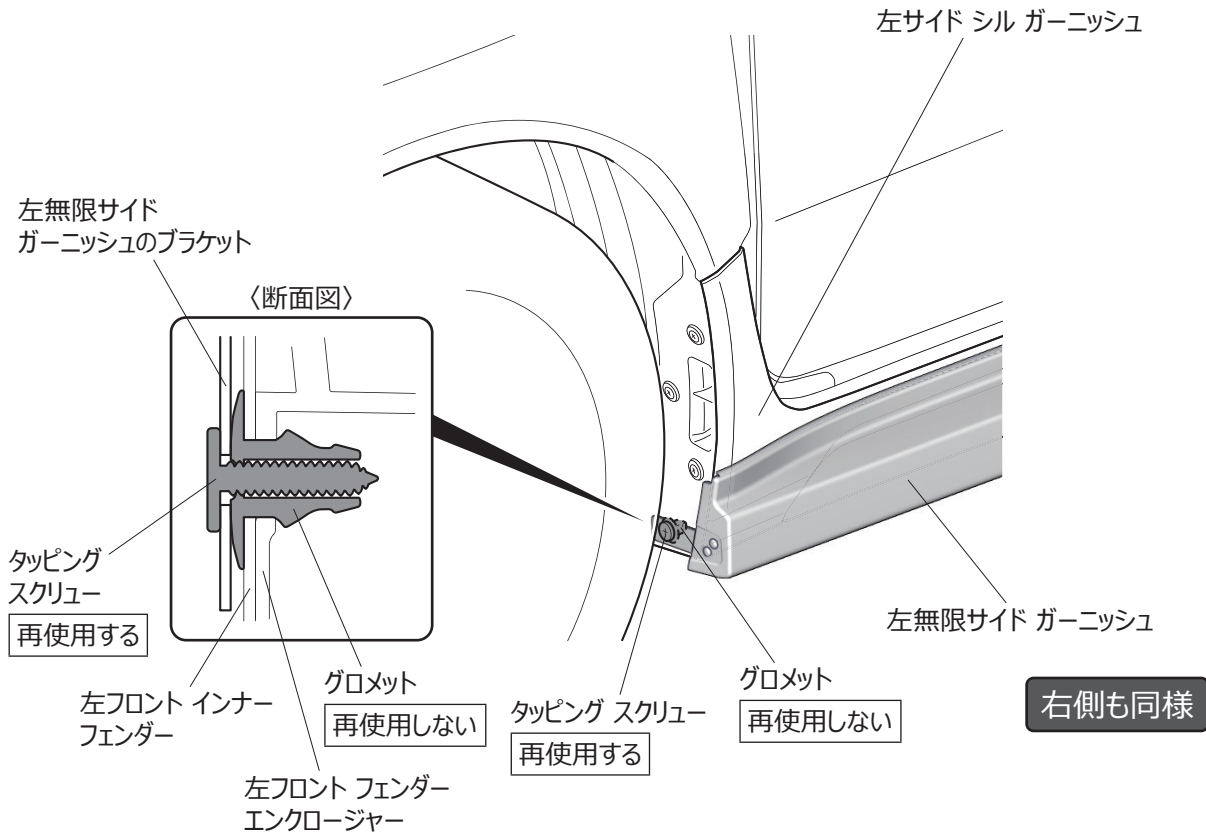
アドバイス

- ・ サイドシルガーニッシュの取り外し方が異なるため、手順7を参照すること。(異なる部分のみ記載)

7. タッピングスクリューとグロメットを取り外す。

アドバイス

- ・ タッピングスクリューは再使用するため、紛失や破損に注意すること。

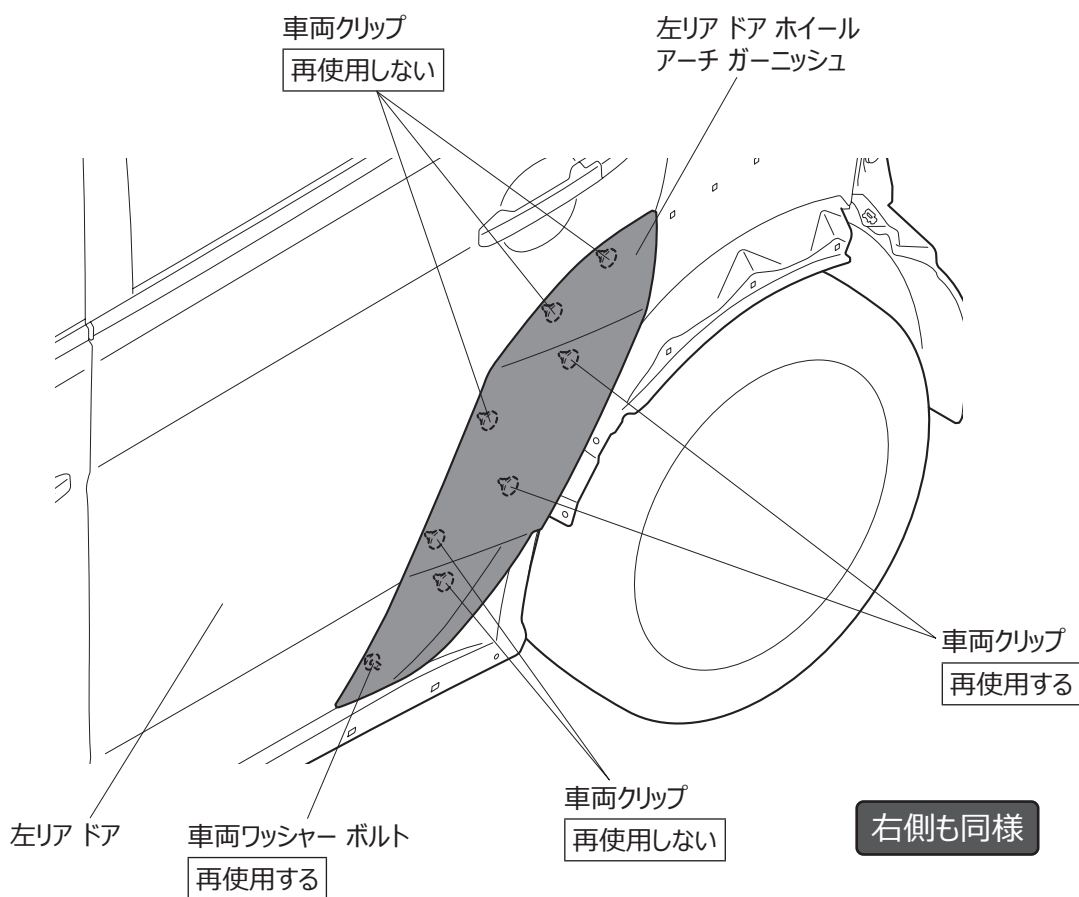


8. リアバンパー、左リアホイールアーチプロテクター、右リアホイールアーチプロテクターを取り外す。(サービスマニュアル参照)

9. 左リアドアホイールアーチガーニッシュを取り外す。(サービスマニュアル参照)

アドバイス

- ・ 車両ワッシャー ボルトと車両クリップの再使用については下図を参照すること。
- ・ 再使用する車両ワッシャー ボルトと車両クリップは、紛失や破損に注意すること。



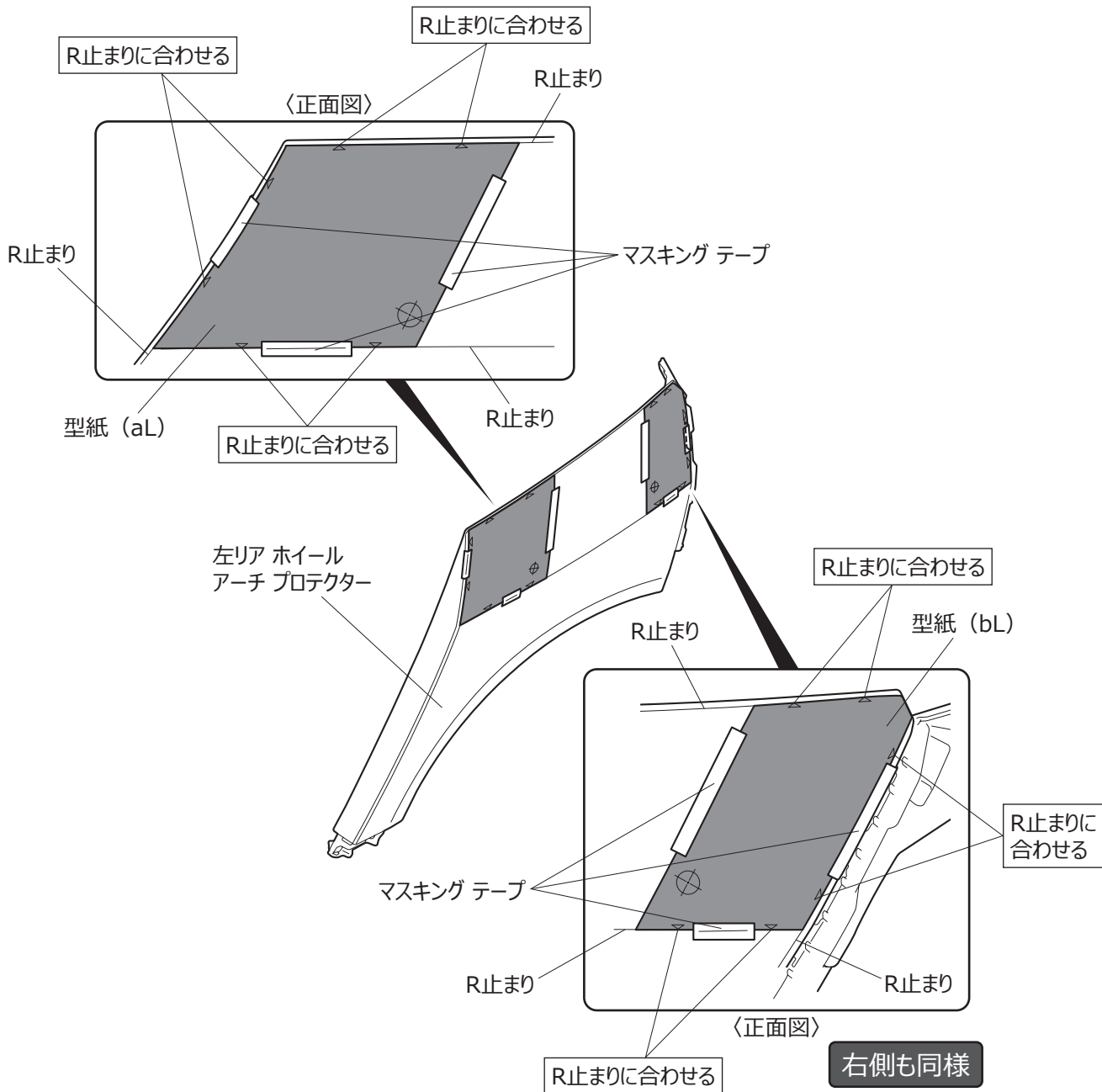
リア オーバー フェンダーの取り付け

アドバイス

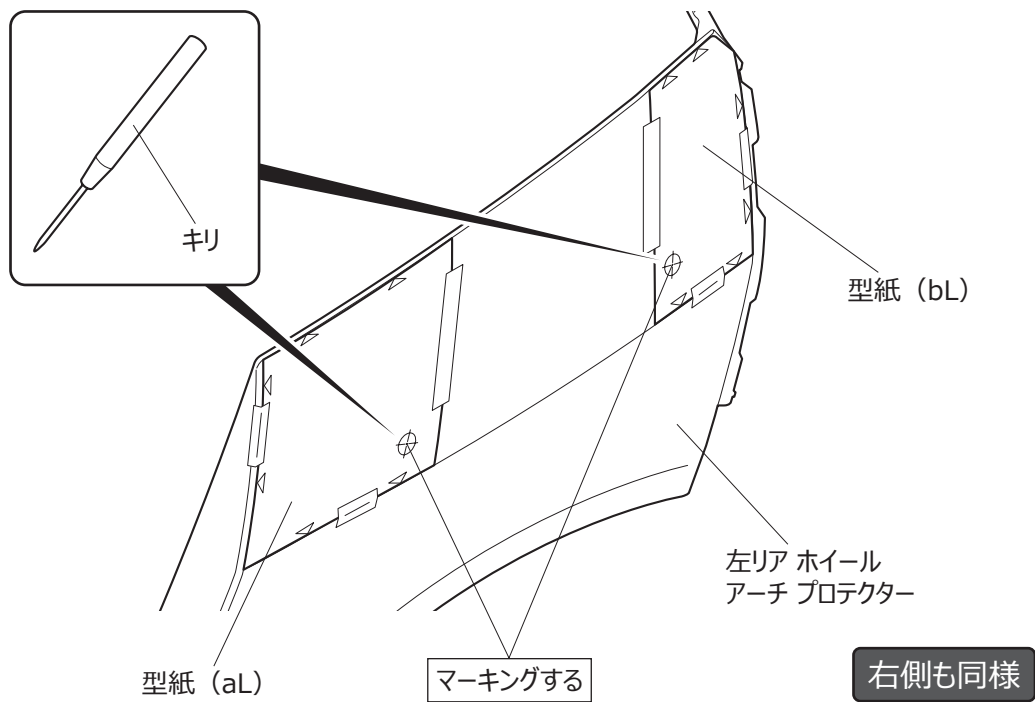
- 作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。

10. 型紙 (a、b) を切り取る。

11. 型紙 (aL、bL) を左リア ホイール アーチ プロテクターに貼り付ける。



12. 左リア ホイール アーチ プロテクターにマーキングする。

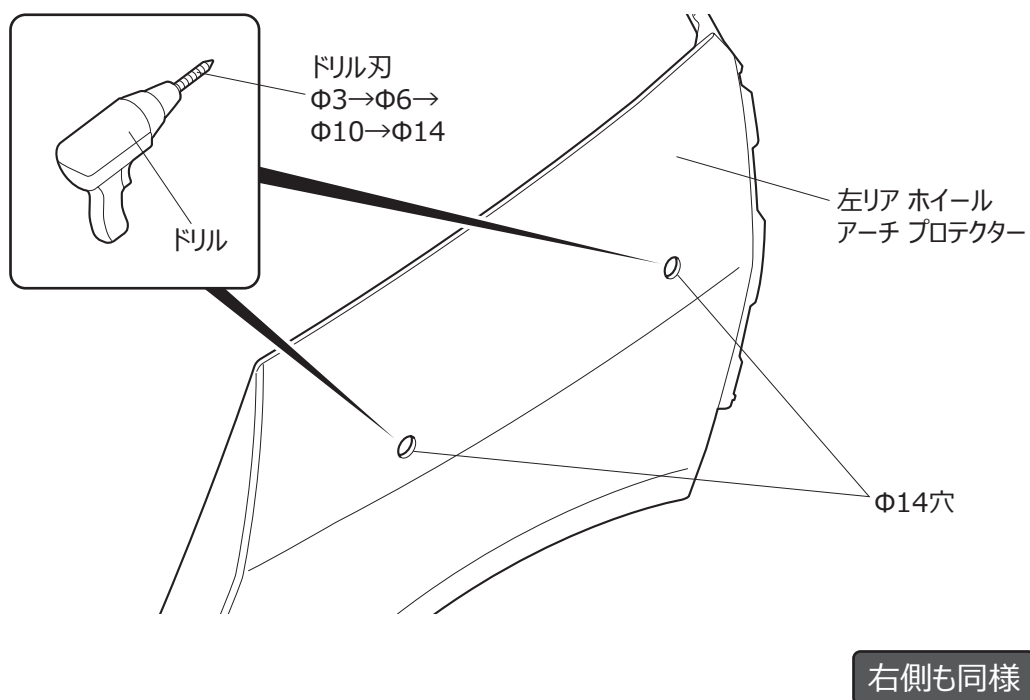


13. 型紙 (a, b) を剥がす。

14. 左リア ホイール アーチ プロテクターに穴をあける。

▲ 注意

- ・ ドリルを使用する際は、ケガなどに十分注意して作業すること。



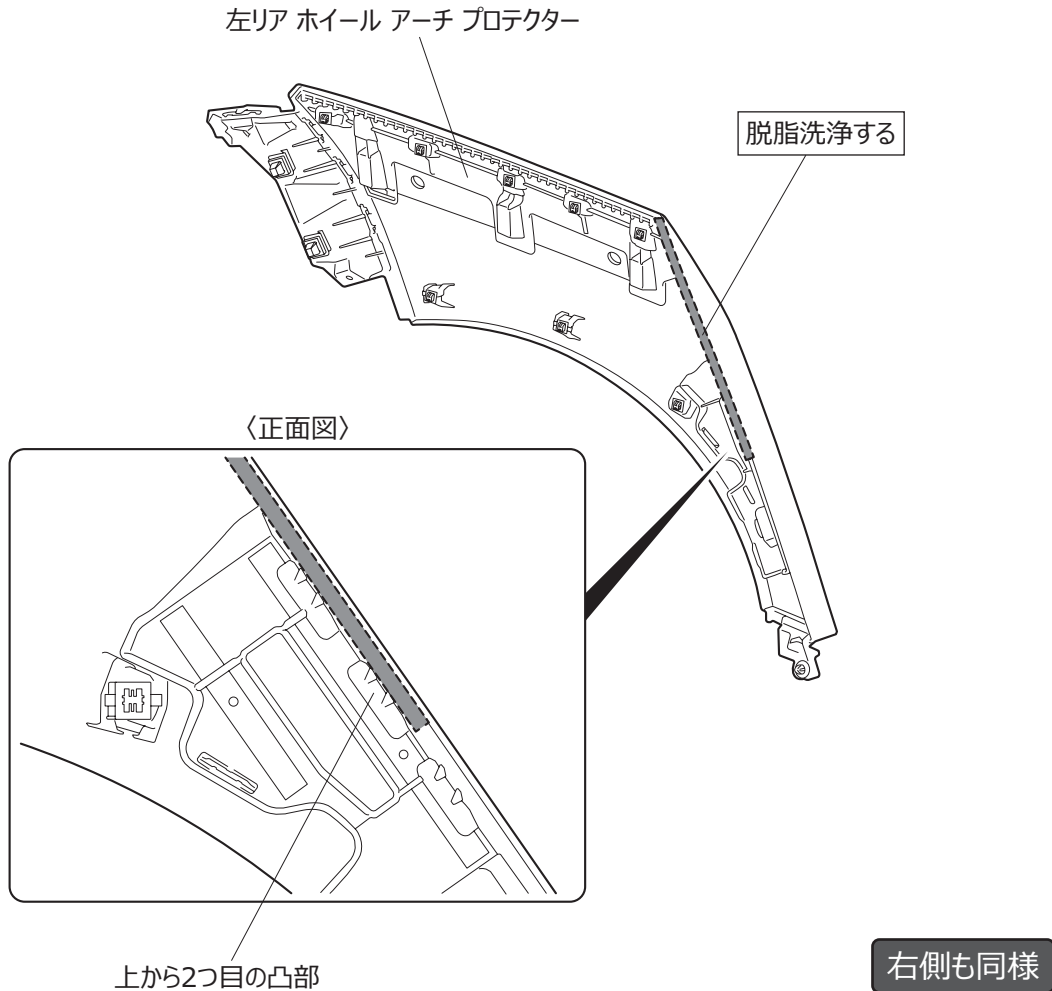
15. バリを除去する。

16. 左リア ホイール アーチ プロテクターを脱脂洗浄する。

アドバイス

- ・ 脱脂洗浄範囲に両面テープが残っている場合は、除去してから脱脂洗浄すること。

〈裏面図〉

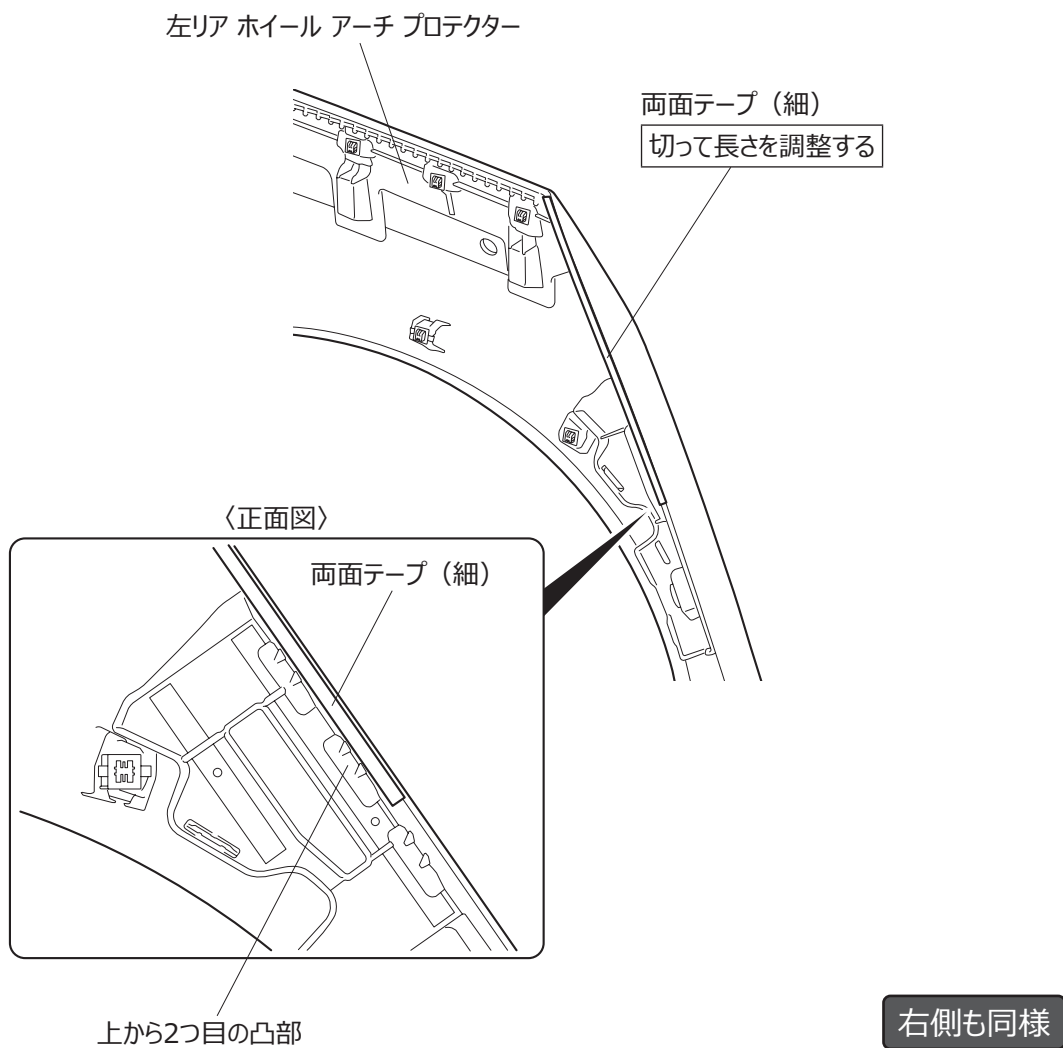


17. 両面テープ（細）を左リア ホイール アーチ プロテクターに貼り付ける。

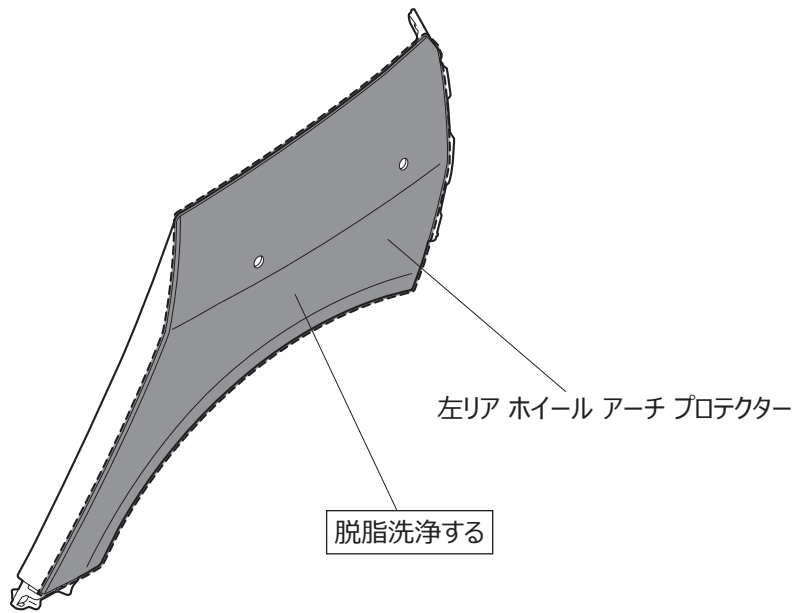
アドバイス

- ・ 接着力を向上させるため、両面テープ貼り付け時には作業環境温度が20℃以上の状態で行い、温度が低いときには、両面テープまたはボディをドライヤー等で温めてから作業を行うこと。その際、部分的に温め過ぎると熱変形する可能性があるため注意すること。

〈裏面図〉



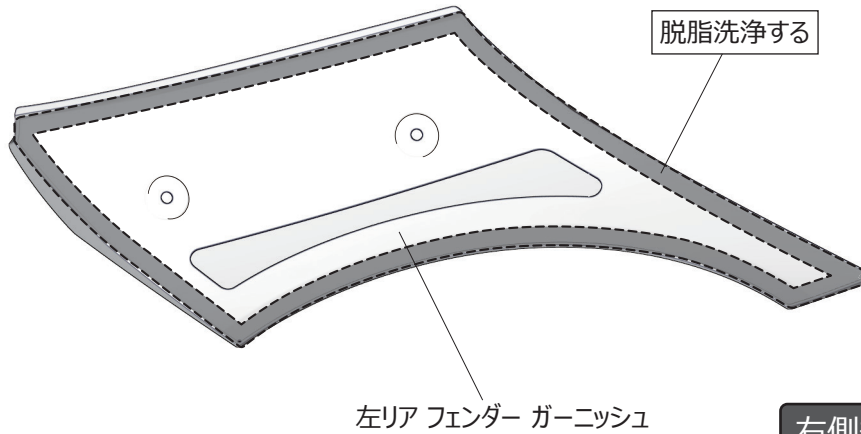
18. 左リア ホイール アーチ プロテクターを脱脂洗浄する。



右側も同様

19. 左リア フェンダー ガーニッシュを脱脂洗浄する。

〈裏面図〉

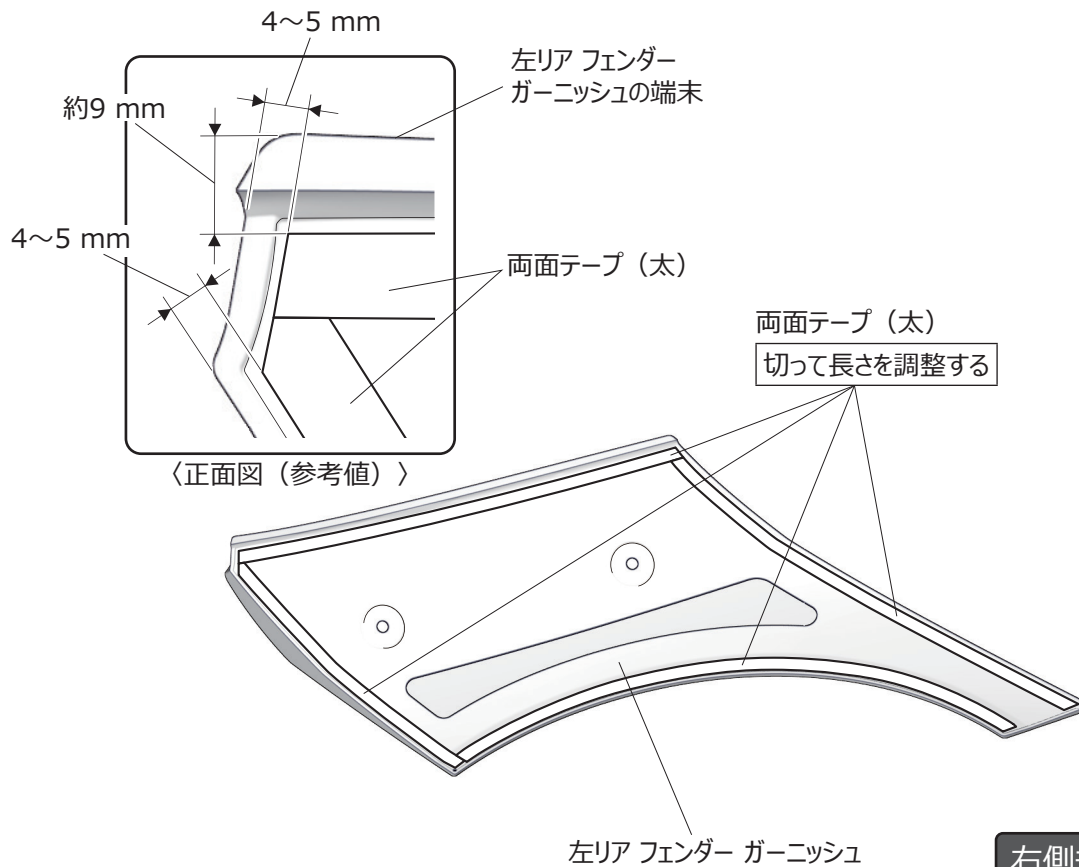


20. 両面テープ（太）を左リア フェンダー ガーニッシュに貼り付ける。

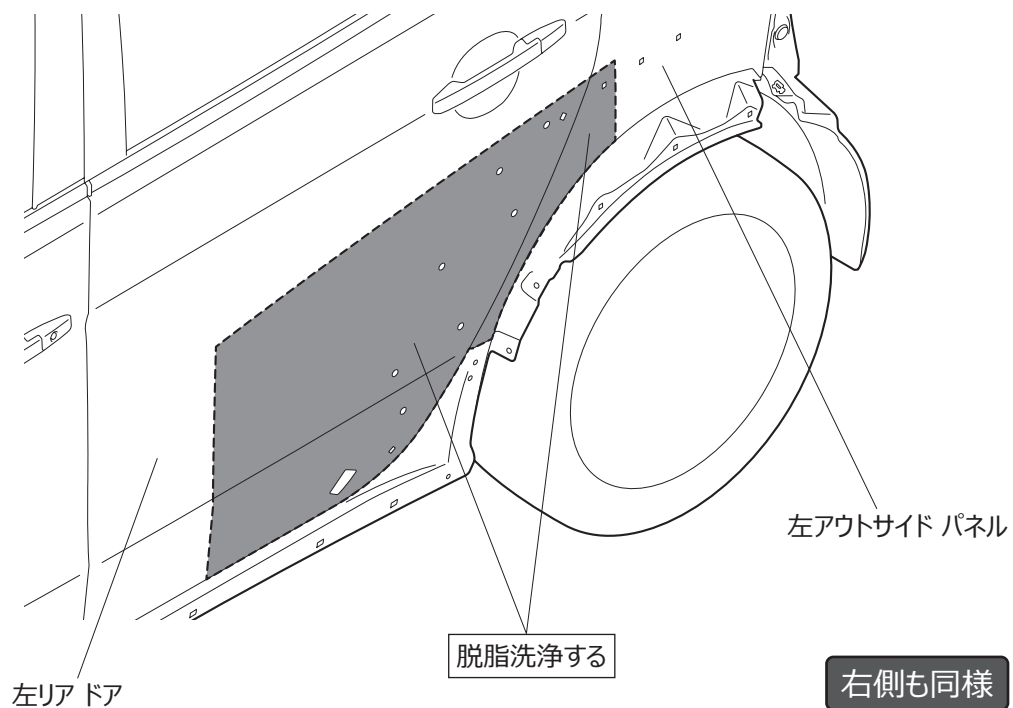
アドバイス

- ・ 接着力を向上させるため、両面テープ貼り付け時には作業環境温度が20℃以上の状態で行い、温度が低いときには、両面テープまたはボディをドライヤー等で温めてから作業を行うこと。その際、部分的に温め過ぎると熱変形する可能性があるため注意すること。

〈裏面図〉

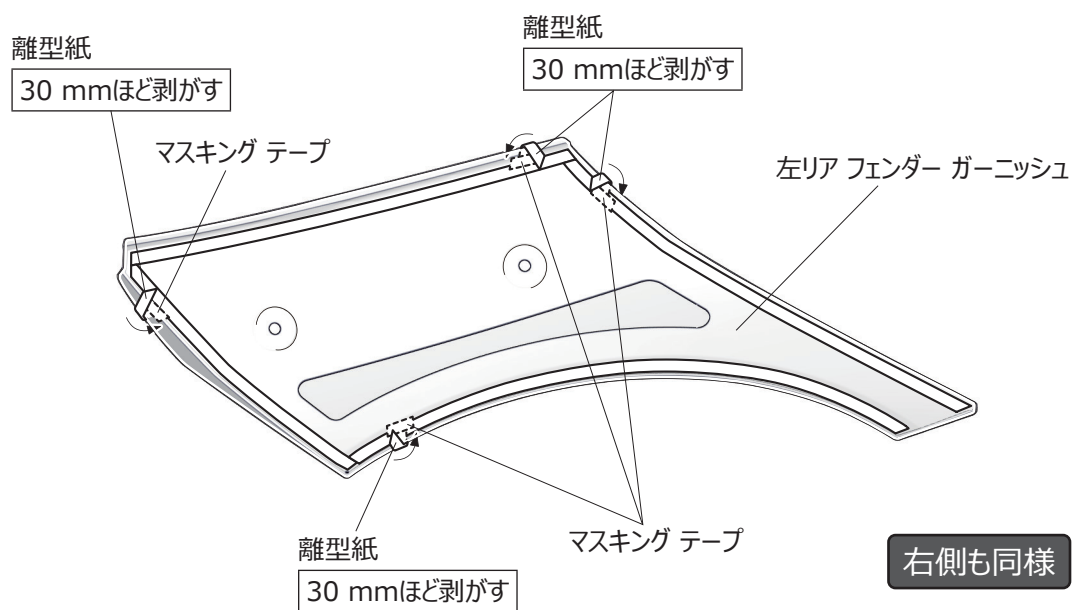


21. 左リア ドアと左アウトサイド パネルを脱脂洗浄する。



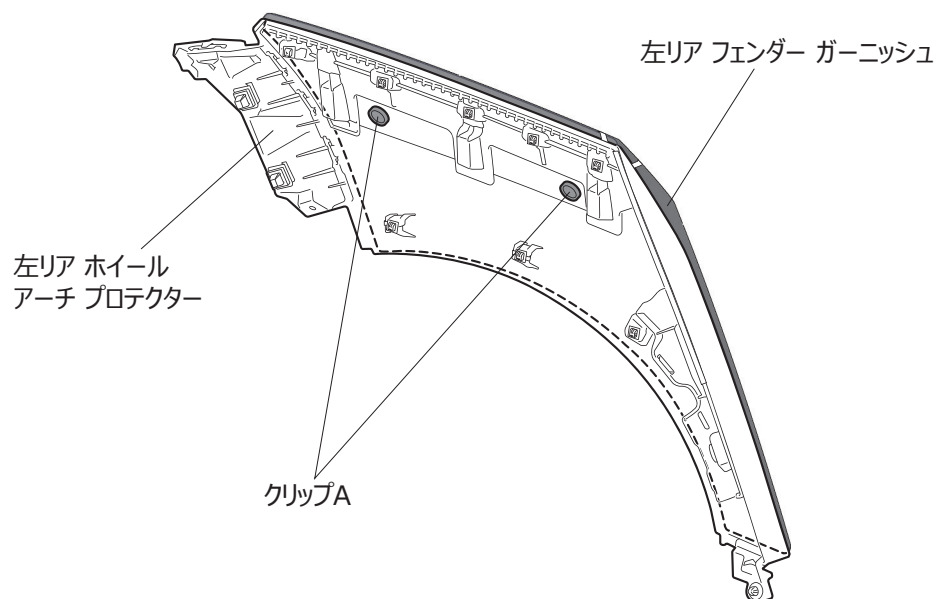
22. 左リア フェンダー ガーニッシュの離型紙を仮留めする。

〈裏面図〉



23. 左リア フェンダー ガーニッシュを左リア ホイール アーチ プロテクターに仮固定する。

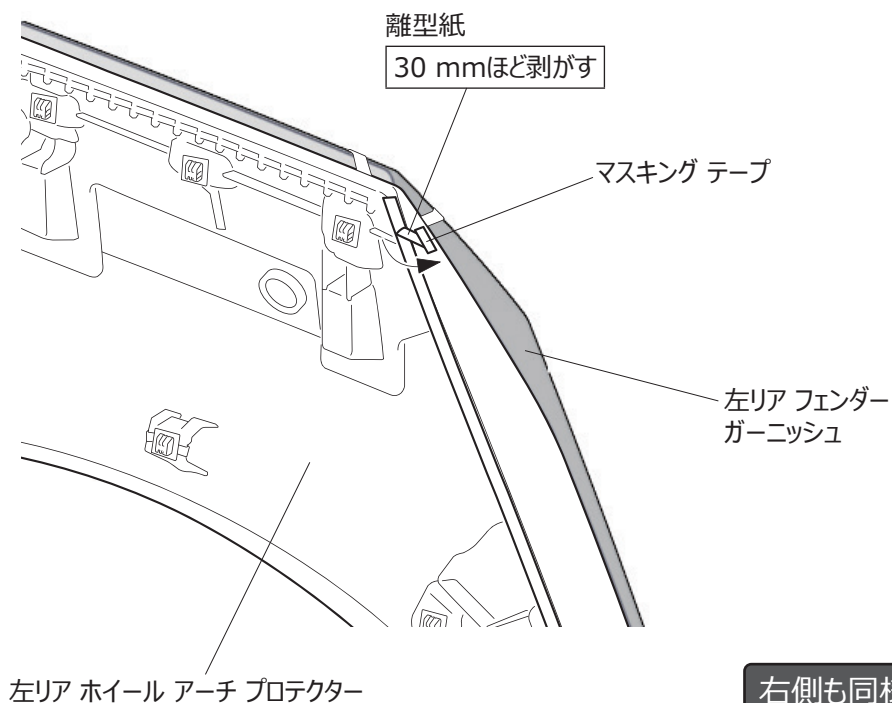
〈裏面図〉



右側も同様

24. 左リア ホイール アーチ プロテクターの離型紙を仮留めする。

〈裏面図〉

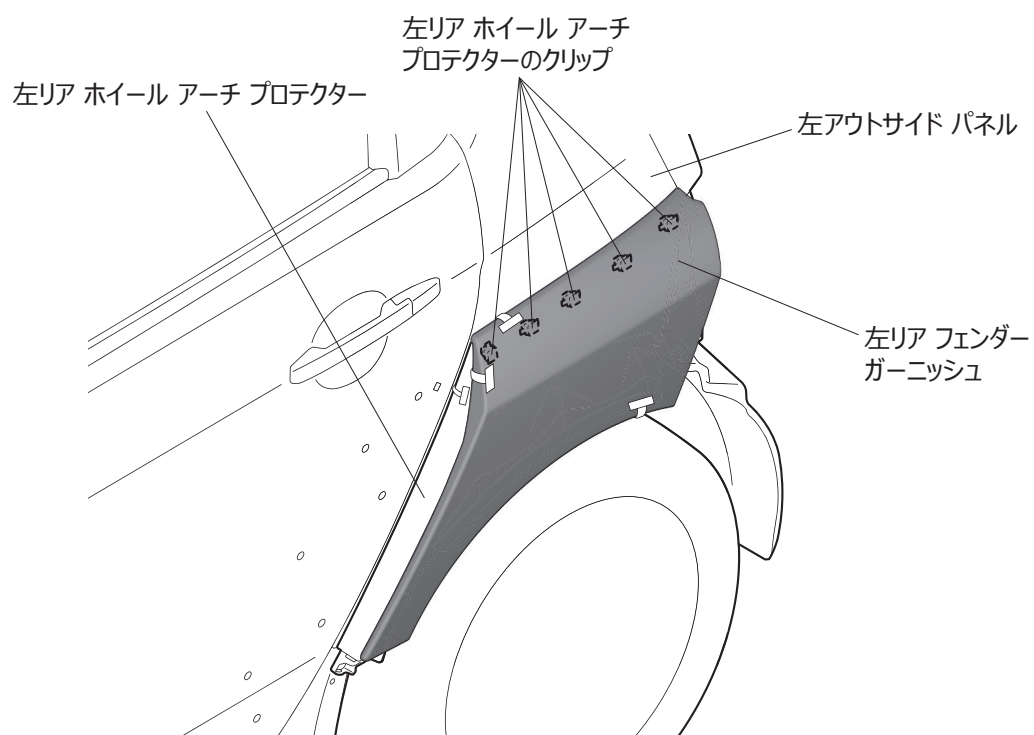


右側も同様

25. 左リア ホイール アーチ プロテクターを復元する。(サービス マニュアル参照)

アドバイス

- ・ 図に示すクリップがアウトサイド パネルに確実に固定されていることを確認すること。



右側も同様

26. 左リア フェンダー ガーニッシュの取り付け位置を確認する。

27. 左リア ホイール アーチ プロテクターを左アウトサイド パネルに圧着する。

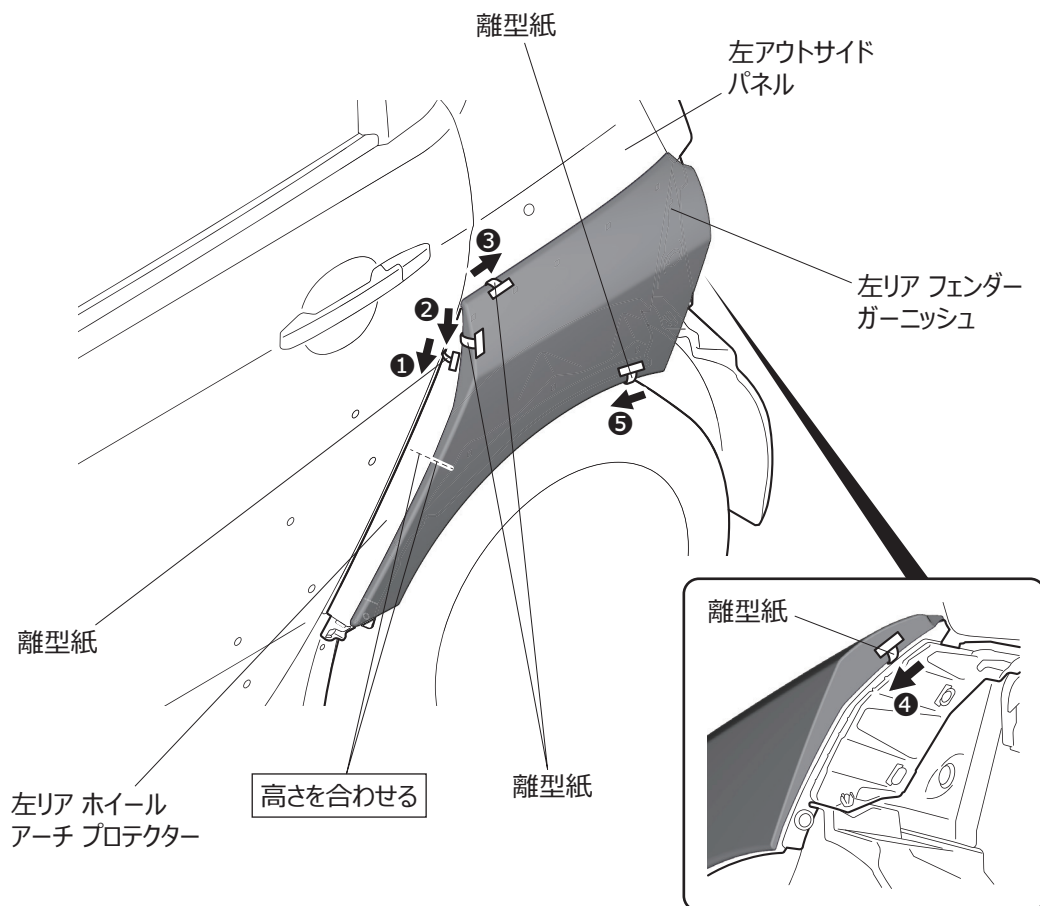
アドバイス

- ・ 接着力を向上させるため、両面テープ貼り付け時には作業環境温度が20℃以上の状態で行い、温度が低いときには、両面テープまたはボディをドライヤー等で温めてから作業を行うこと。その際、部分的に温め過ぎると熱変形する可能性があるため注意すること。
- ・ 図に示す方向および順番で離型紙を剥がし、圧着すること。
- ・ ホイール アーチ プロテクターの浮きや剥がれの原因となるため、両面テープの圧着作業は十分に行うこと。

28. 左リア フェンダー ガーニッシュを左リア ホイール アーチ プロテクターに圧着する。

アドバイス

- ・ 接着力を向上させるため、両面テープ貼り付け時には作業環境温度が20℃以上の状態で行い、温度が低いときには、両面テープまたはボディをドライヤー等で温めてから作業を行うこと。その際、部分的に温め過ぎると熱変形する可能性があるため注意すること。
- ・ 図に示す方向および順番で離型紙を剥がし、圧着すること。
- ・ ガーニッシュの浮きや剥がれの原因となるため、両面テープの圧着作業は十分に行うこと。

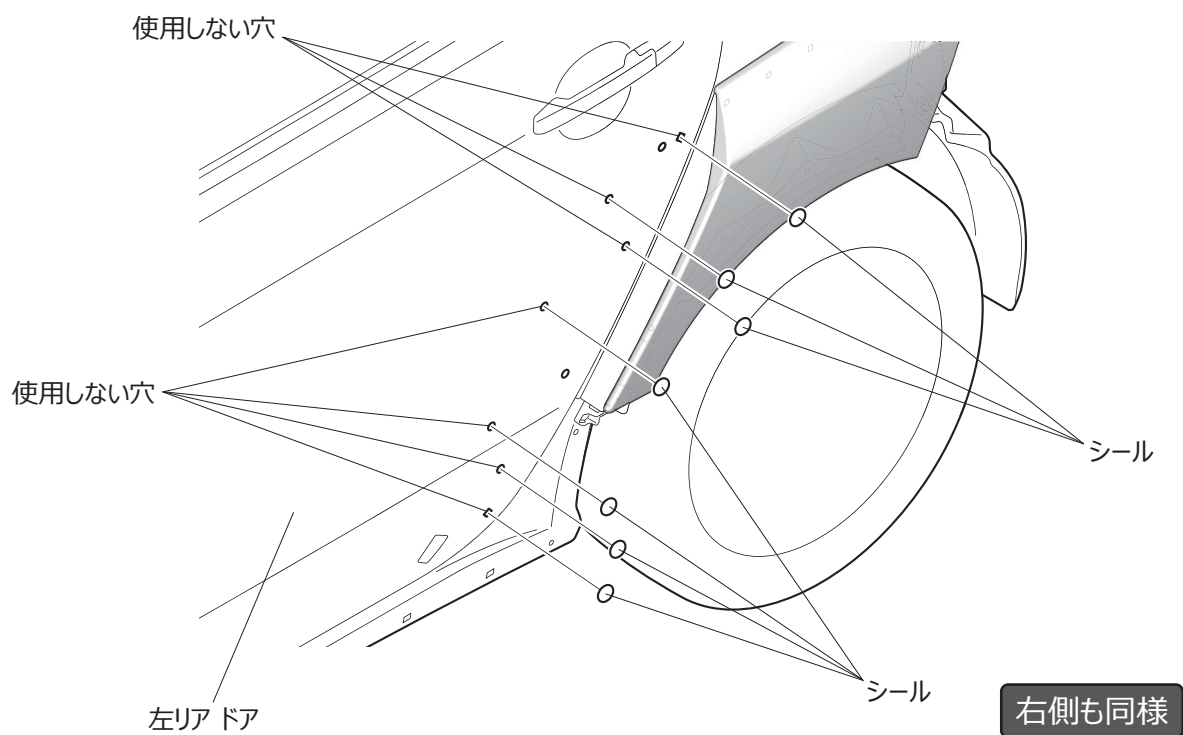


右側も同様

29. シールを左リア ドアに貼り付ける。

アドバイス

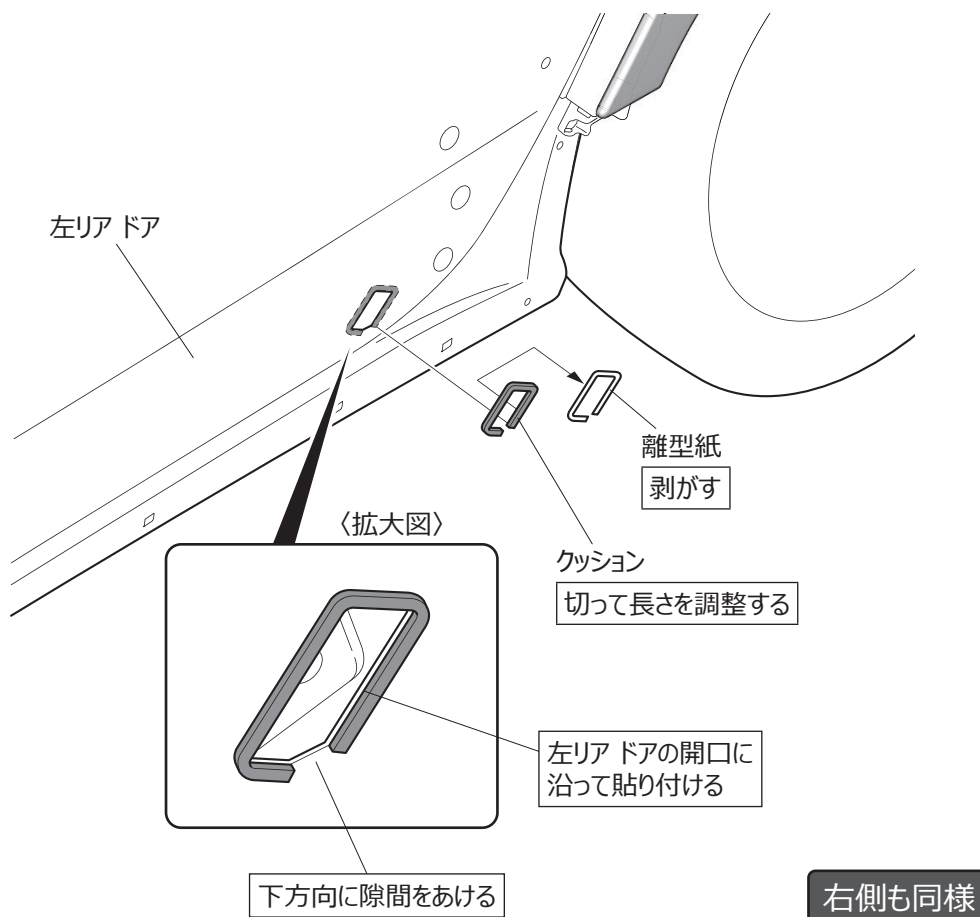
- ・ 使用しない穴を間違えないように注意すること。



30. クッションを左リア ドアに貼り付ける。

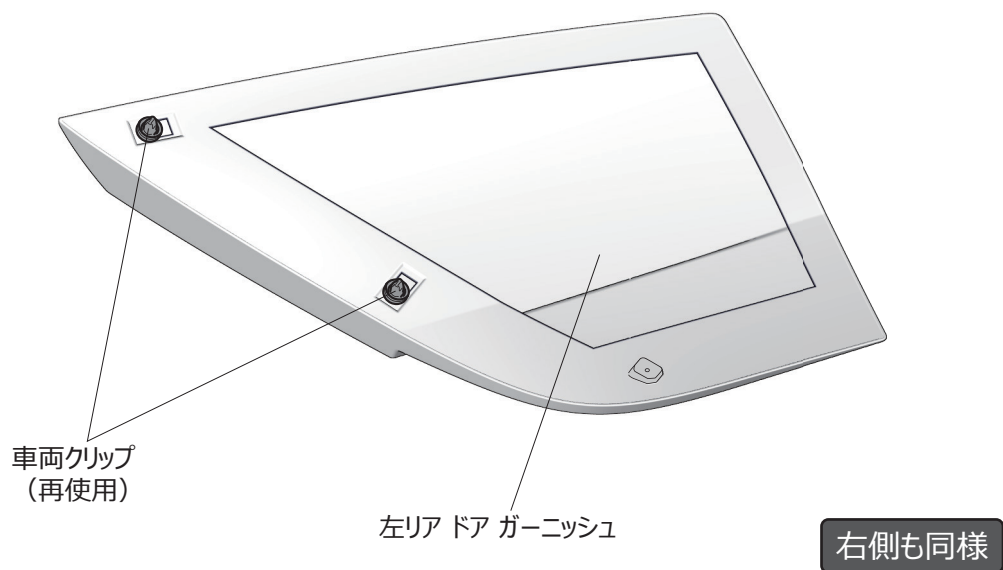
アドバイス

- ・ 接着力を向上させるため、両面テープ貼り付け時には作業環境温度が20℃以上の状態で行い、温度が低いときには、両面テープまたはボディをドライヤー等で温めてから作業を行うこと。その際、部分的に温め過ぎると熱変形する可能性があるため注意すること。



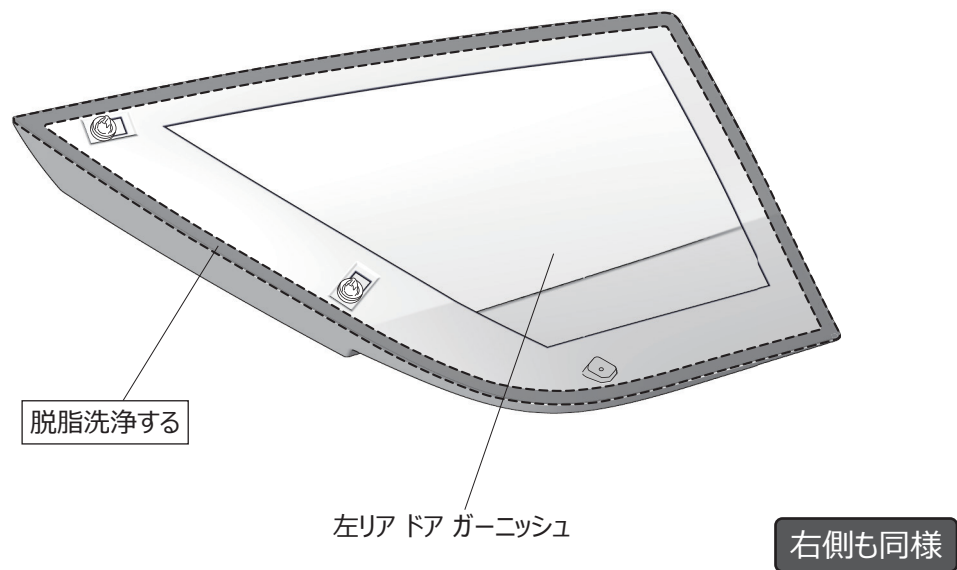
31. 左リア ドア ガーニッシュに車両クリップ（再使用）を取り付ける。

〈裏面図〉



32. 左リア ドア ガーニッシュを脱脂洗浄する。

〈裏面図〉

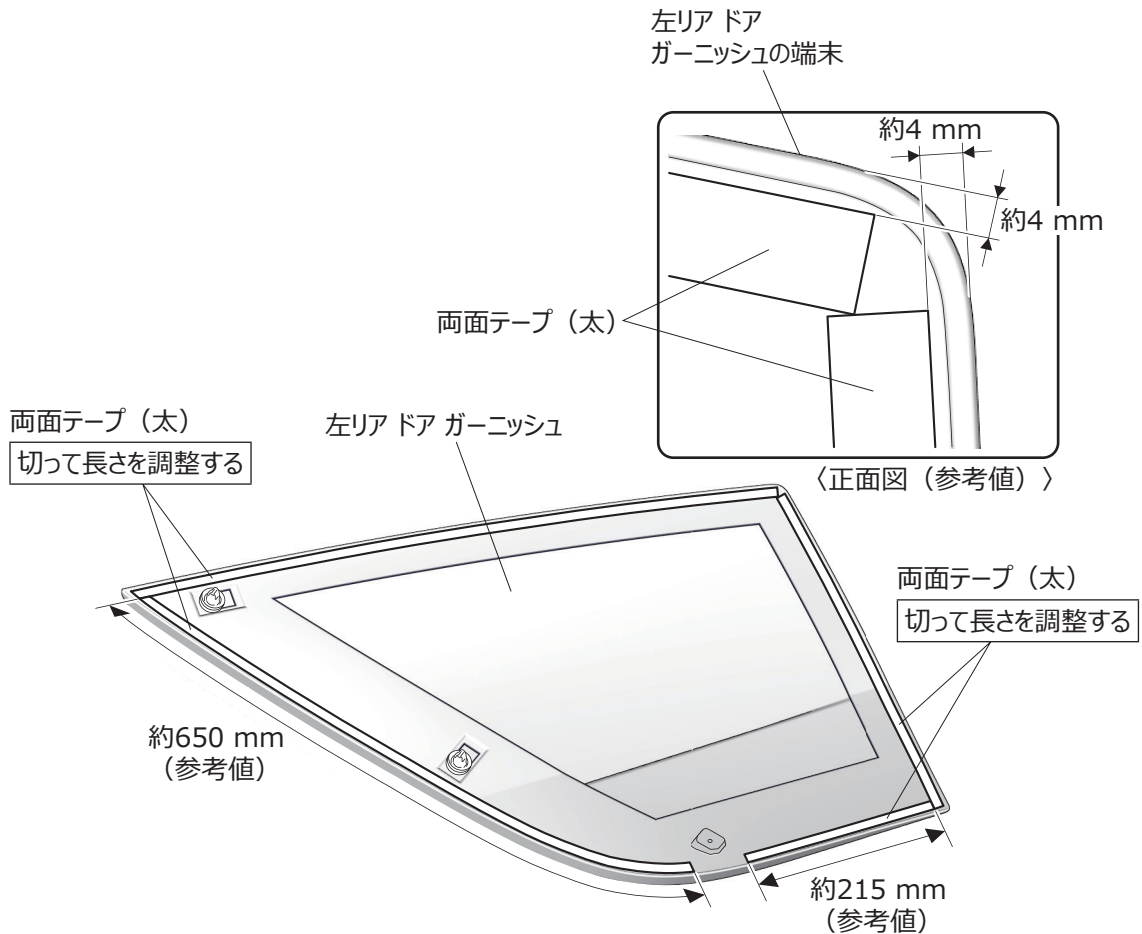


33. 両面テープ（太）を左リア バンパー ガーニッシュに貼り付ける。

アドバイス

- ・ 接着力を向上させるため、両面テープ貼り付け時には作業環境温度が20℃以上の状態で行い、温度が低いときには、両面テープまたはボディをドライヤー等で温めてから作業を行うこと。その際、部分的に温め過ぎると熱変形する可能性があるため注意すること。

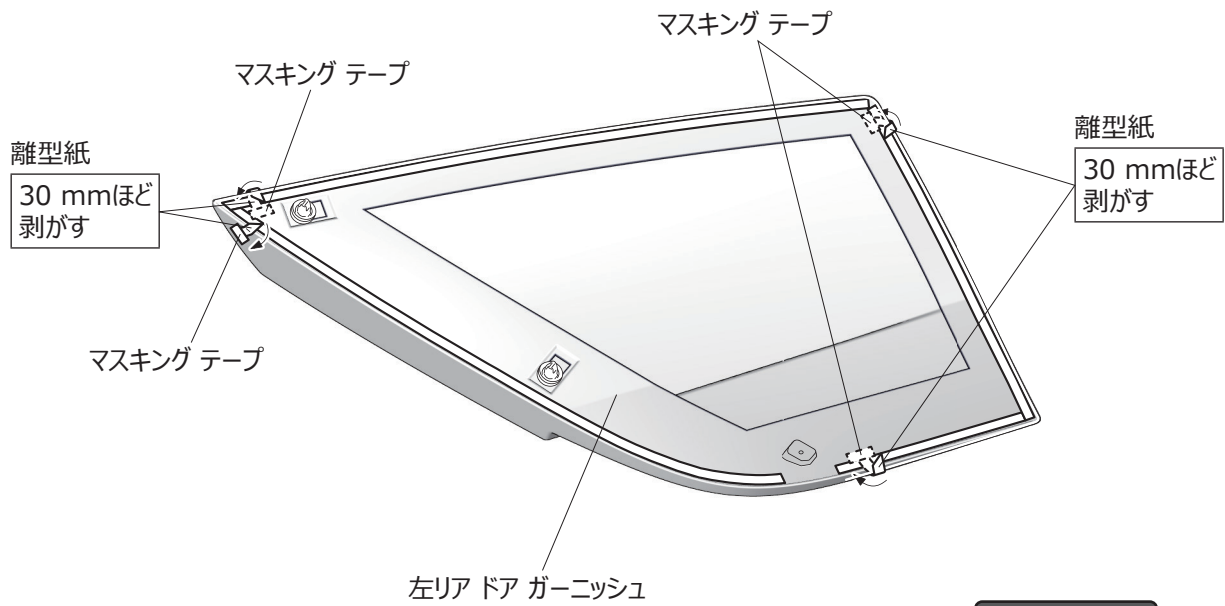
〈裏面図〉



右側も同様

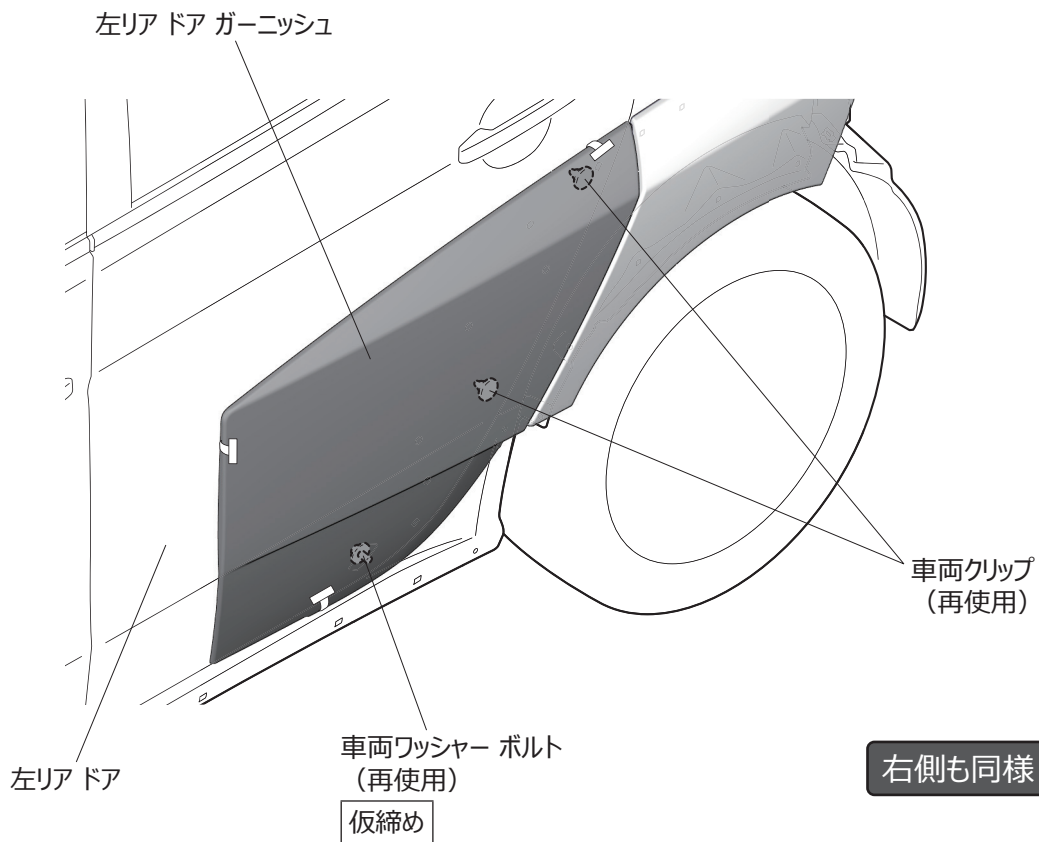
34. 左リア ドア ガーニッシュの離型紙を仮留めする。

〈裏面図〉



右側も同様

35. 左リア ドア ガーニッシュを左リア ドアに仮固定する。



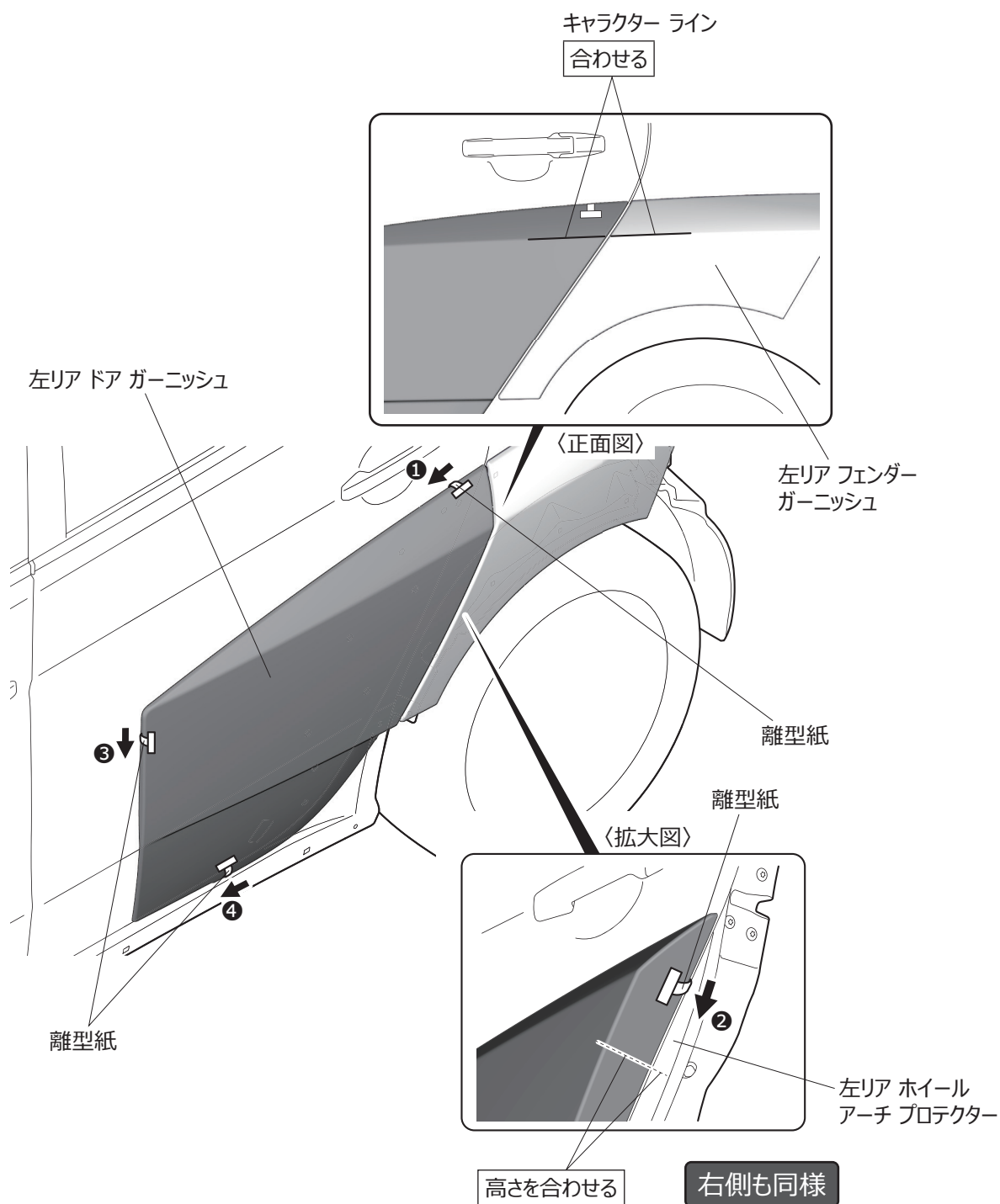
右側も同様

36. 左リア ドア ガーニッシュの取り付け位置を確認する。

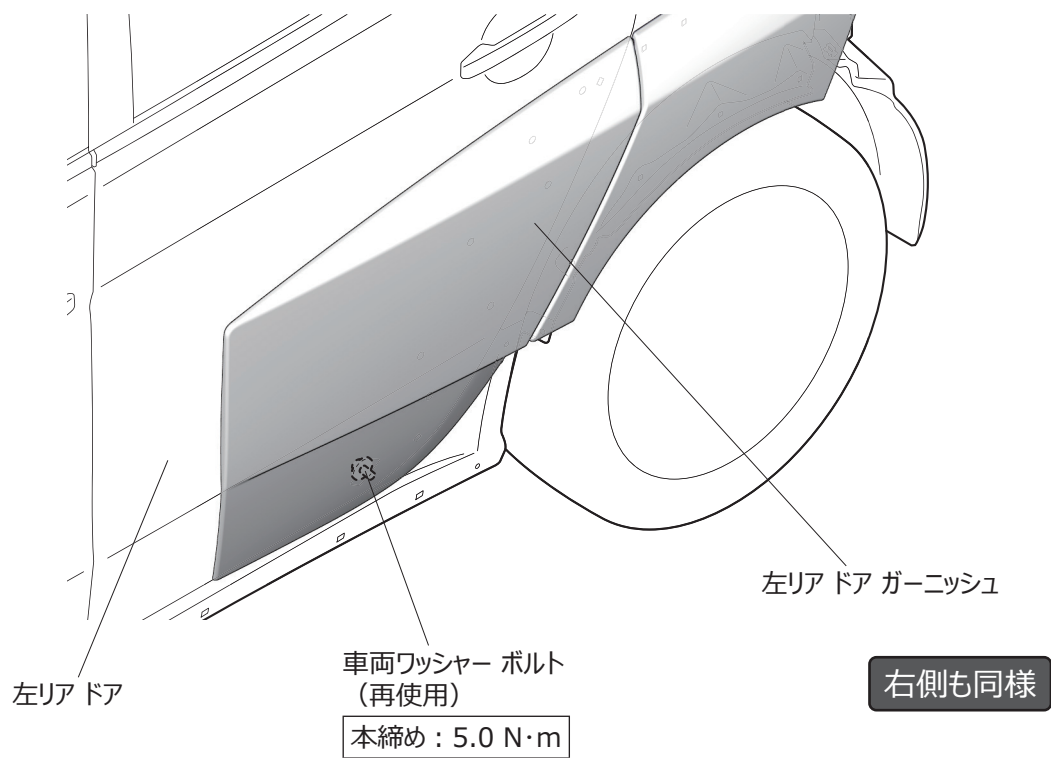
37. 左リア ドア ガーニッシュを左リア ドアに圧着する。

アドバイス

- ・ 接着力を向上させるため、両面テープ貼り付け時には作業環境温度が20℃以上の状態で行い、温度が低いときには、両面テープまたはボディをドライヤー等で温めてから作業を行うこと。その際、部分的に温め過ぎると熱変形する可能性があるため注意すること。
- ・ 図に示す方向および順番で離型紙を剥がし、圧着すること。
- ・ ガーニッシュの浮きや剥がれの原因となるため、両面テープの圧着作業は十分に行うこと。



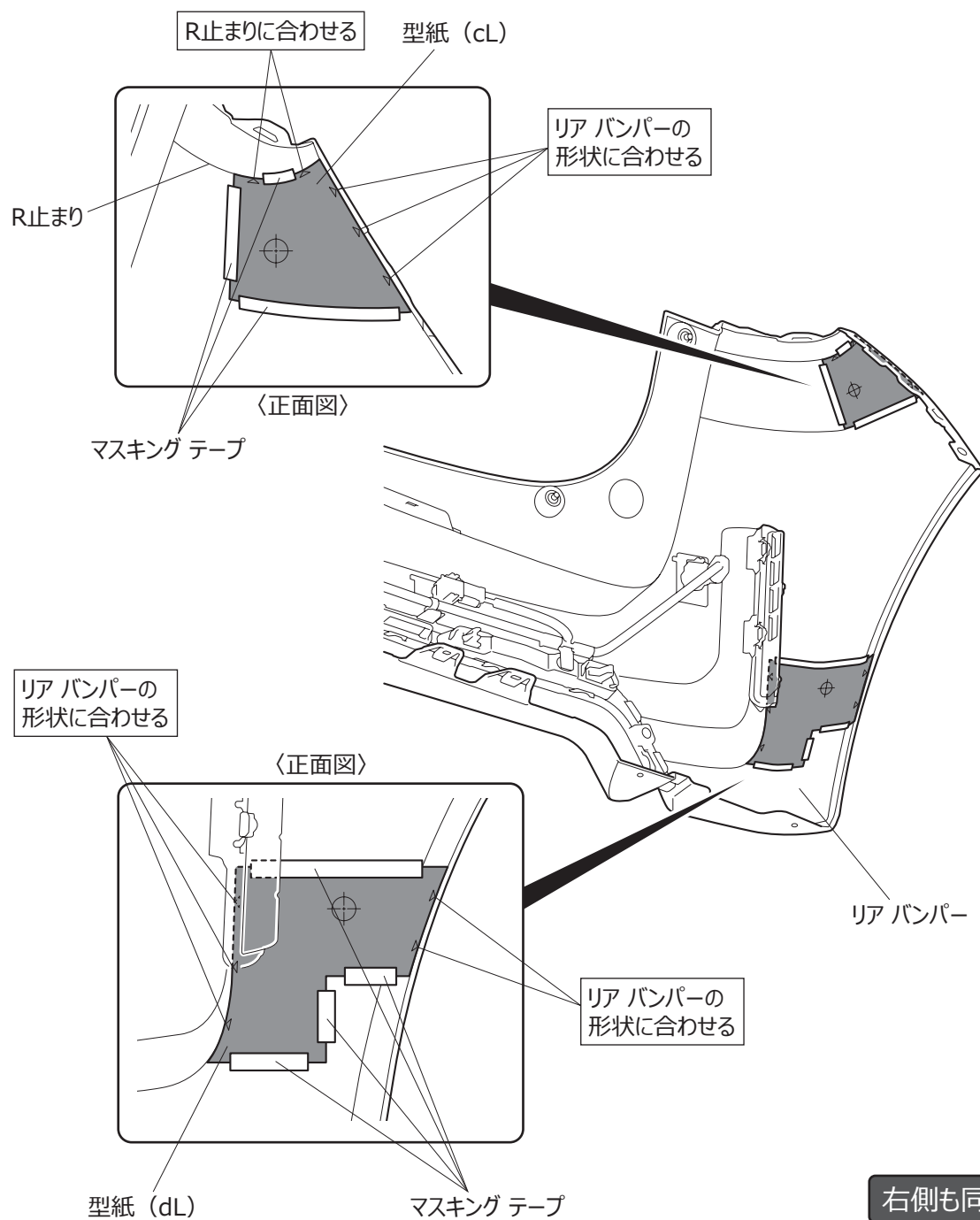
38. 左リア ドア ガーニッシュを左リア ドアに固定する。



39. 型紙 (c, d) を切り取る。

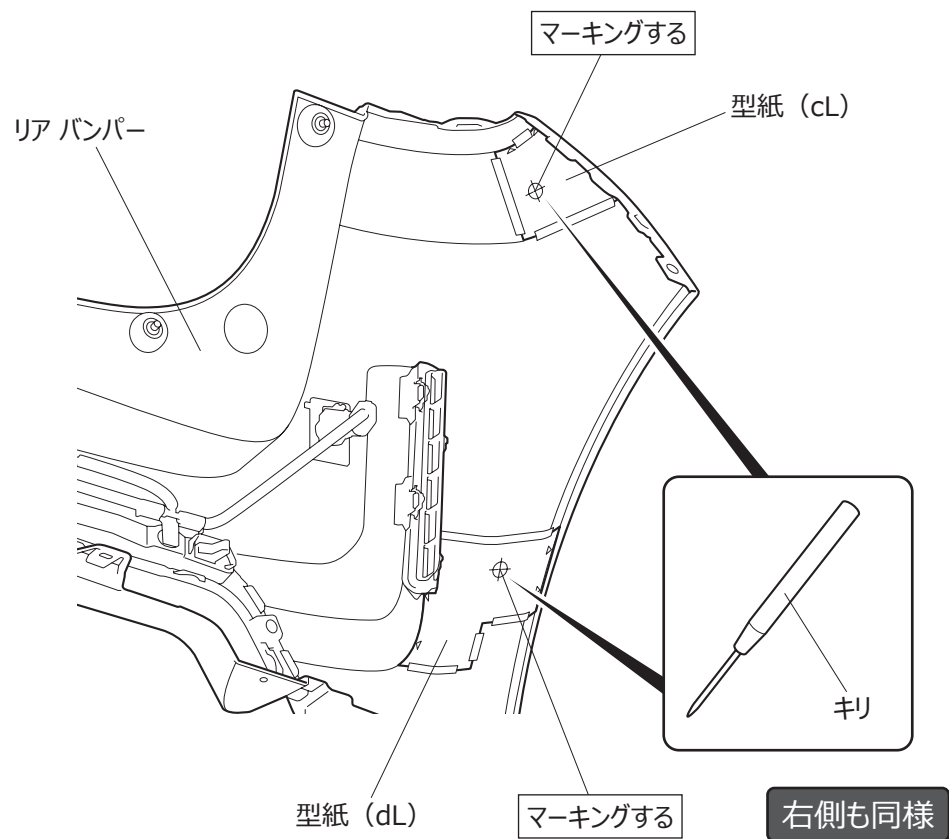
40. 型紙 (cL, dL) をリアバンパー裏面に貼り付ける。

〈裏面図〉



41. リア バンパーにマーキングする。

〈裏面図〉



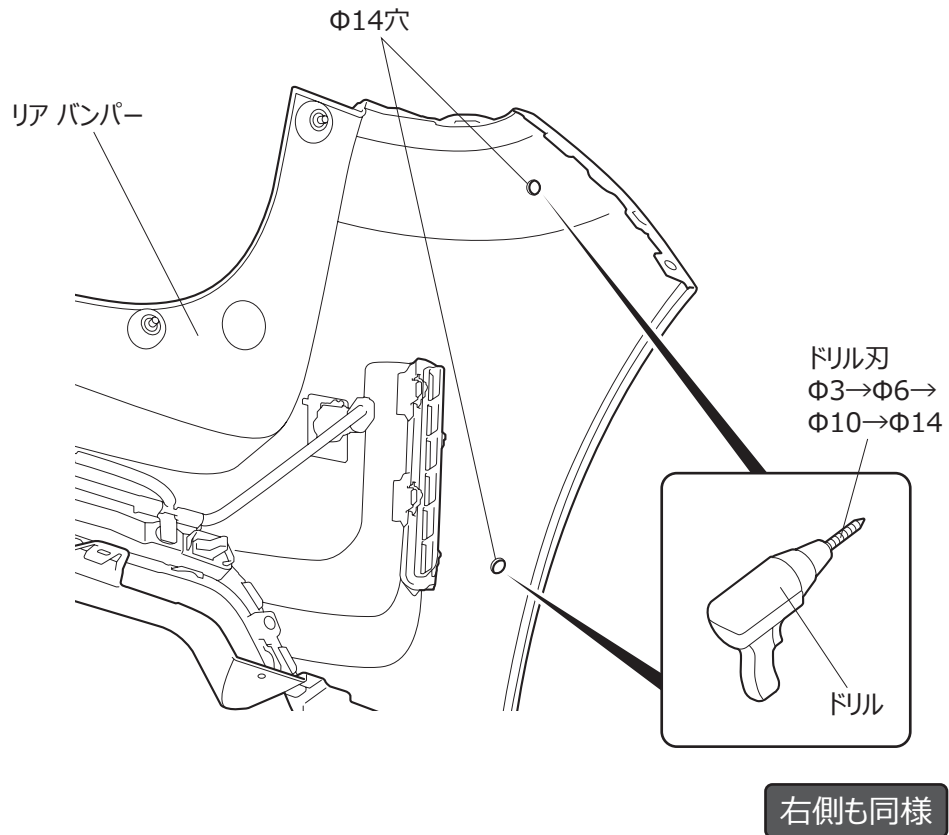
42. 型紙 (c、d) を剥がす。

43. リア バンパーに穴をあける。

▲ 注意

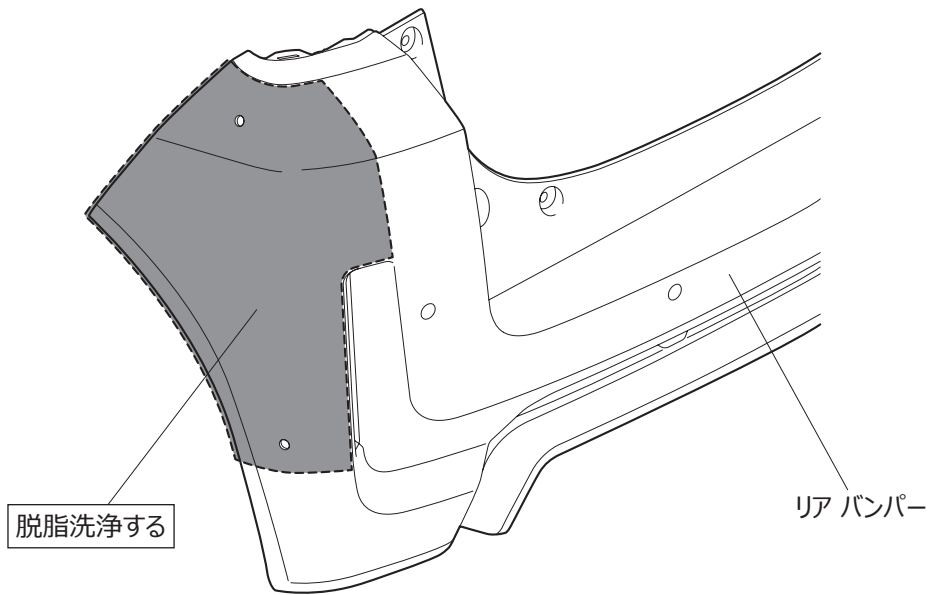
- ・ ドリルを使用する際は、ケガなどに十分注意して作業すること。

〈裏面図〉



44. バリを除去する。

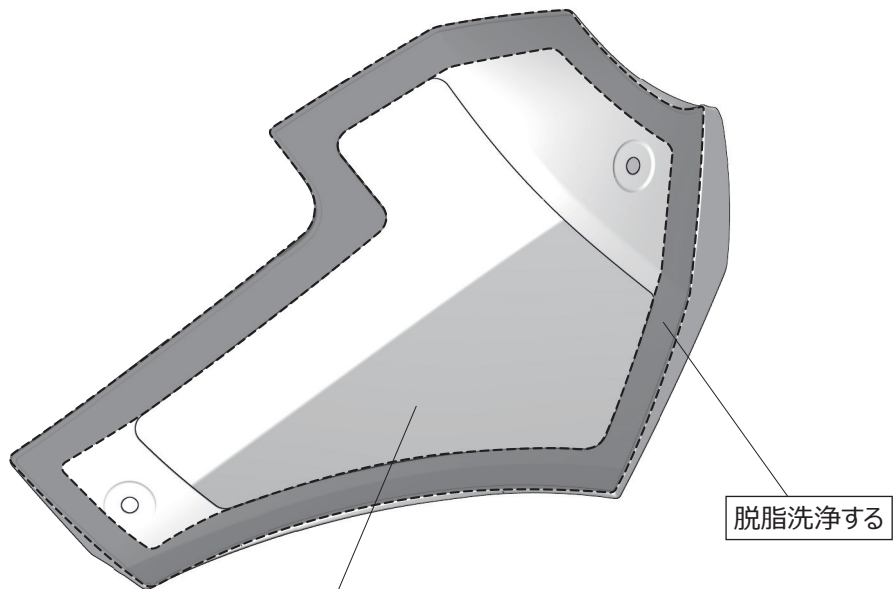
45. リア バンパーを脱脂洗浄する。



右側も同様

46. 左リア バンパー ガーニッシュを脱脂洗浄する。

〈裏面図〉



左リア バンパー ガーニッシュ

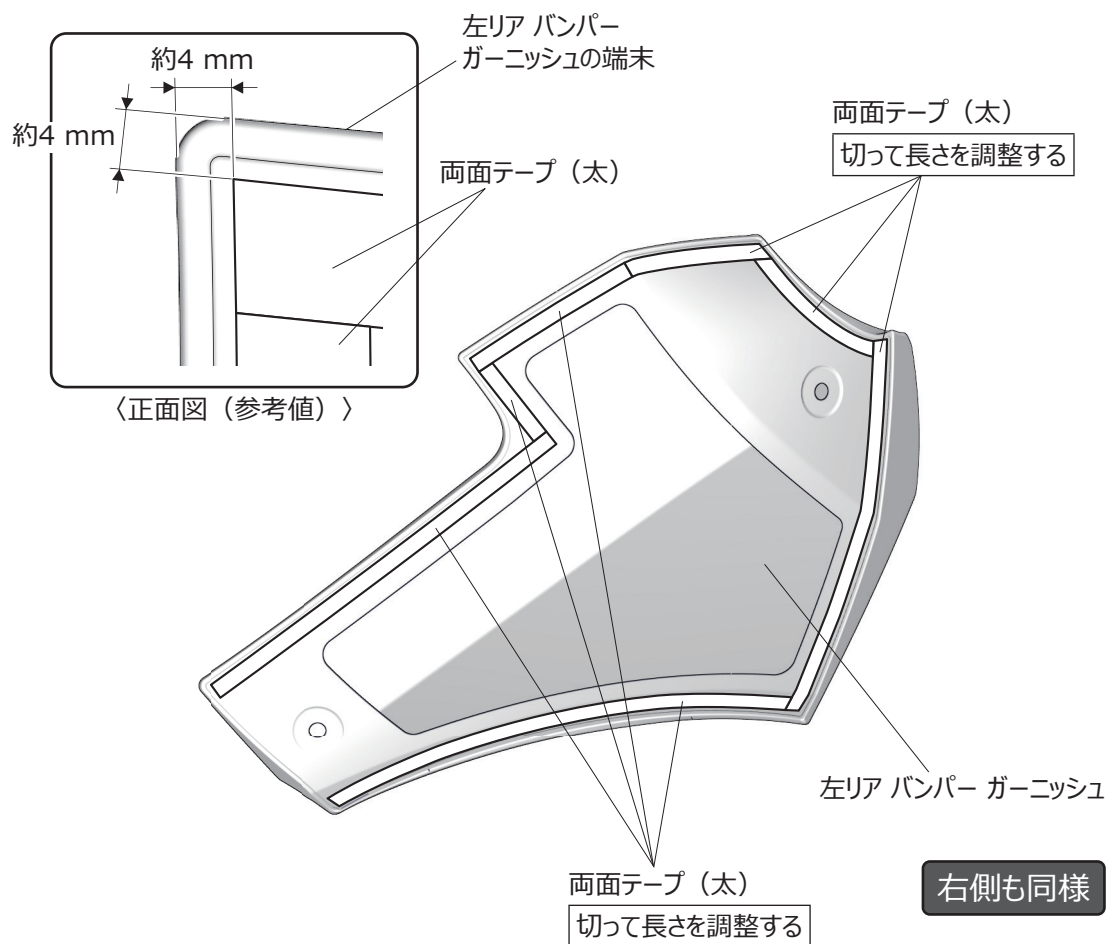
右側も同様

47. 両面テープ（太）を左リア バンパー ガーニッシュに貼り付ける。

アドバイス

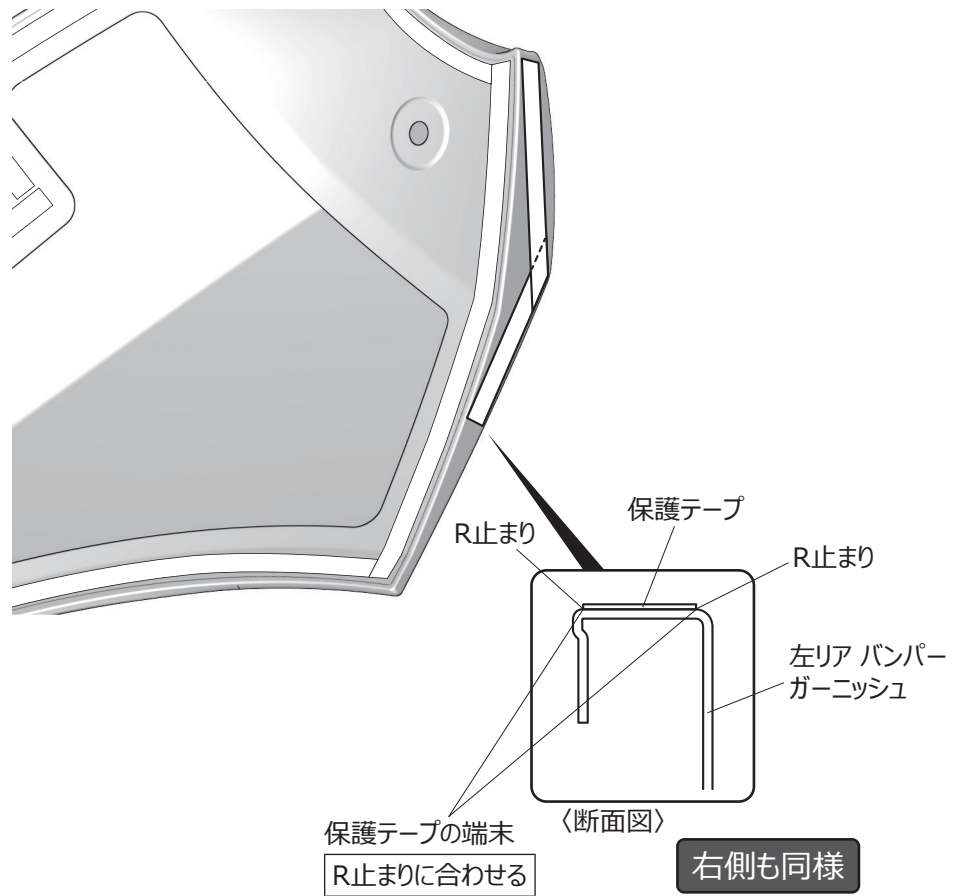
- ・ 接着力を向上させるため、両面テープ貼り付け時には作業環境温度が20℃以上の状態で行い、温度が低いときには、両面テープまたはボディをドライヤー等で温めてから作業を行うこと。その際、部分的に温め過ぎると熱変形する可能性があるため注意すること。

〈裏面図〉



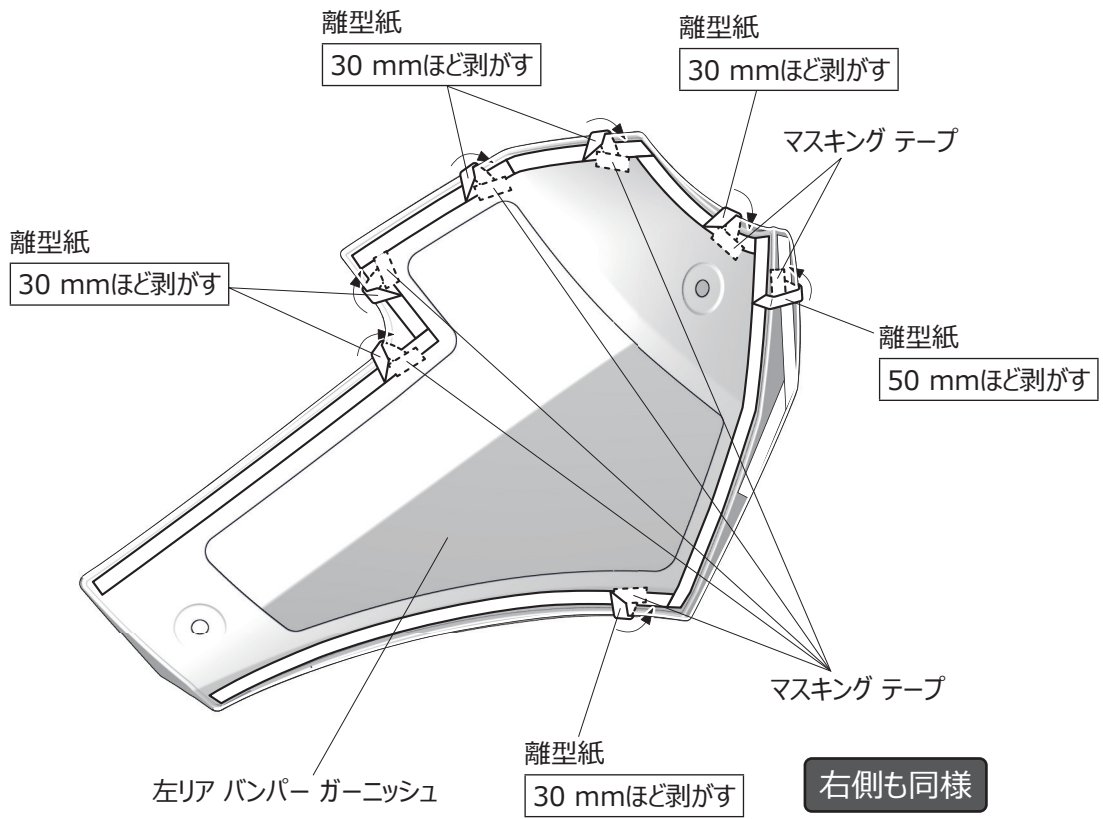
48. 保護テープを左リア バンパー ガーニッシュに貼り付ける。

〈裏面図〉



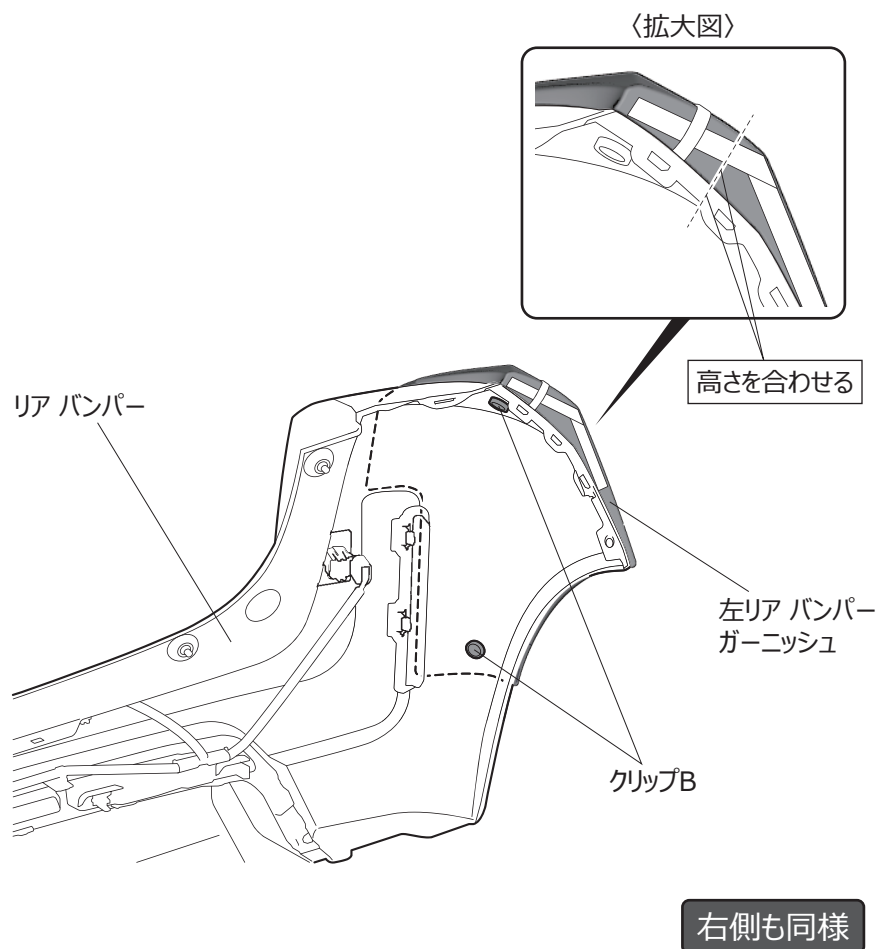
49. 左リア バンパー ガーニッシュの離型紙を仮留めする。

〈裏面図〉



50. 左リア バンパー ガーニッシュをリア バンパーに仮固定する。

〈裏面図〉



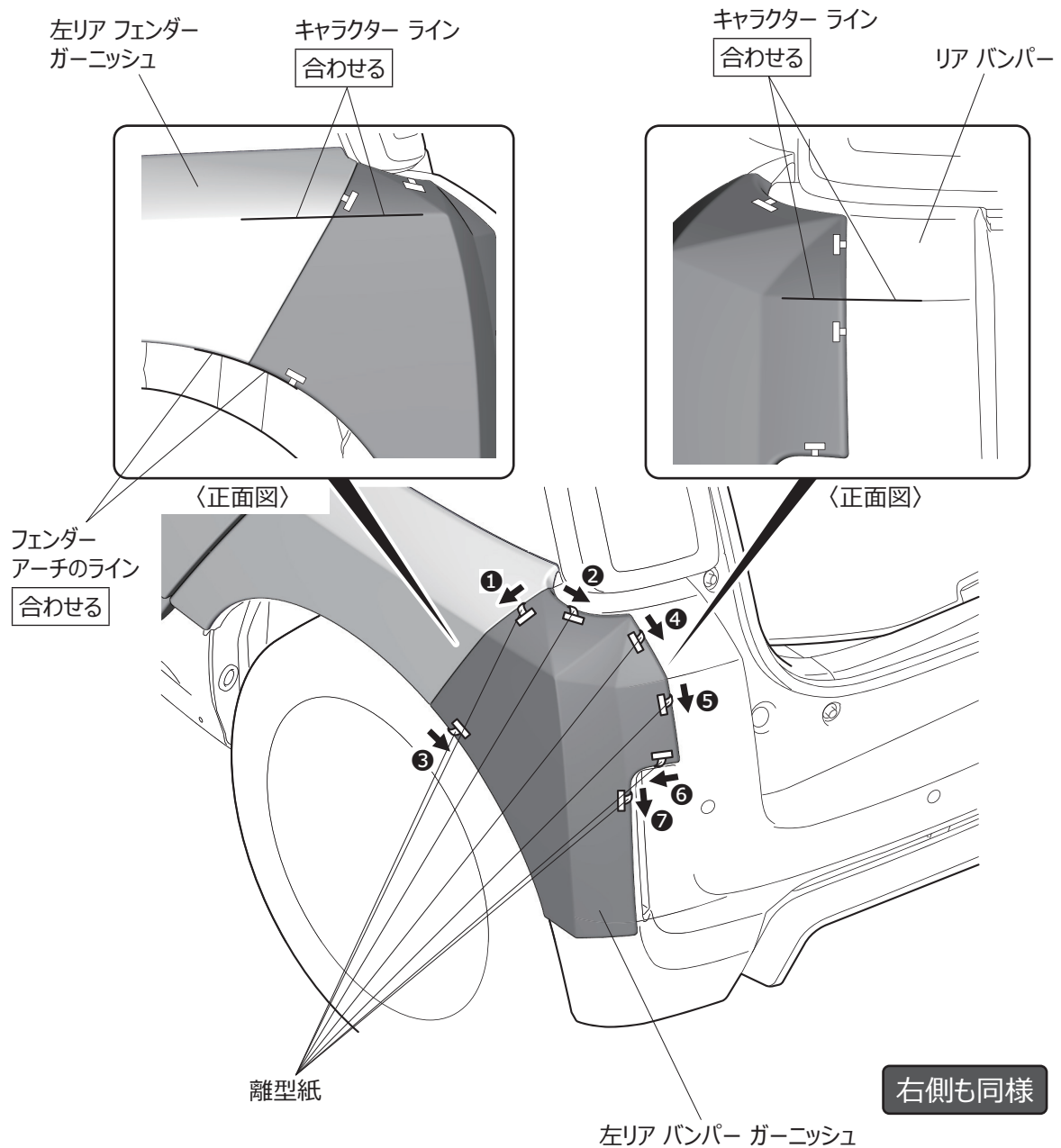
51. リア バンパーを復元する。(サービス マニュアル参照)

52. 左リア バンパー ガーニッシュの取り付け位置を確認する。

53. 左リア バンパー ガーニッシュをリア バンパーに圧着する。

アドバイス

- ・ 接着力を向上させるため、両面テープ貼り付け時には作業環境温度が20℃以上の状態で行い、温度が低いときには、両面テープまたはボディをドライヤー等で温めてから作業を行うこと。その際、部分的に温め過ぎると熱変形する可能性があるため注意すること。
- ・ 図に示す方向および順番で離型紙を剥がし、圧着すること。
- ・ ガーニッシュの浮きや剥がれの原因となるため、両面テープの圧着作業は十分に行うこと。



54. 以下の内容を確認する。

- ・ 無限サイド ガーニッシュ非装着車
- ・ 無限サイド ガーニッシュ装着車

手順55へ

手順56へ

55. 左サイド シル ガーニッシュと右サイド シル ガーニッシュを復元する。(サービス マニュアル参照)

手順59へ

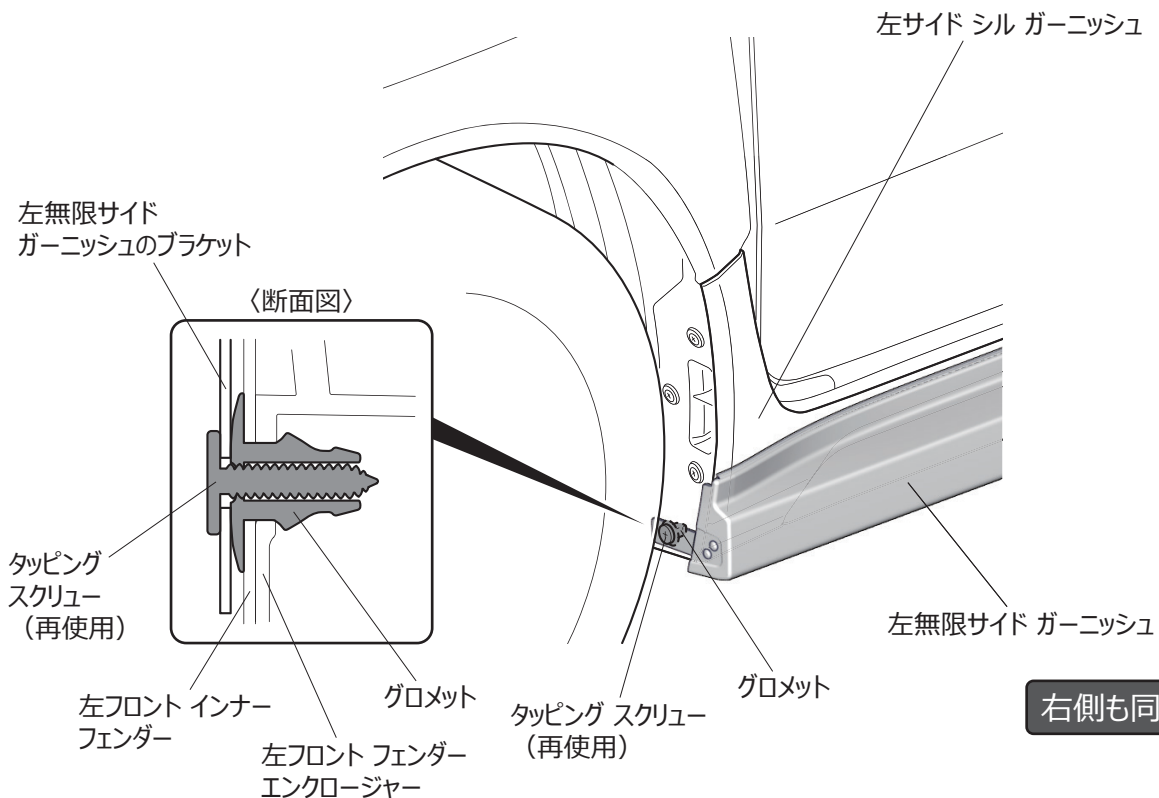
56. 左サイド シル ガーニッシュと右サイド シル ガーニッシュを復元する。(サービス マニュアル参照)

アドバイス

- ・ サイド シル ガーニッシュの取り付け方が異なるため、手順57と58を参照すること。(異なる部分のみ記載)

57. グロメットを車両に取り付ける。

58. 左無限サイド ガーニッシュを固定する。



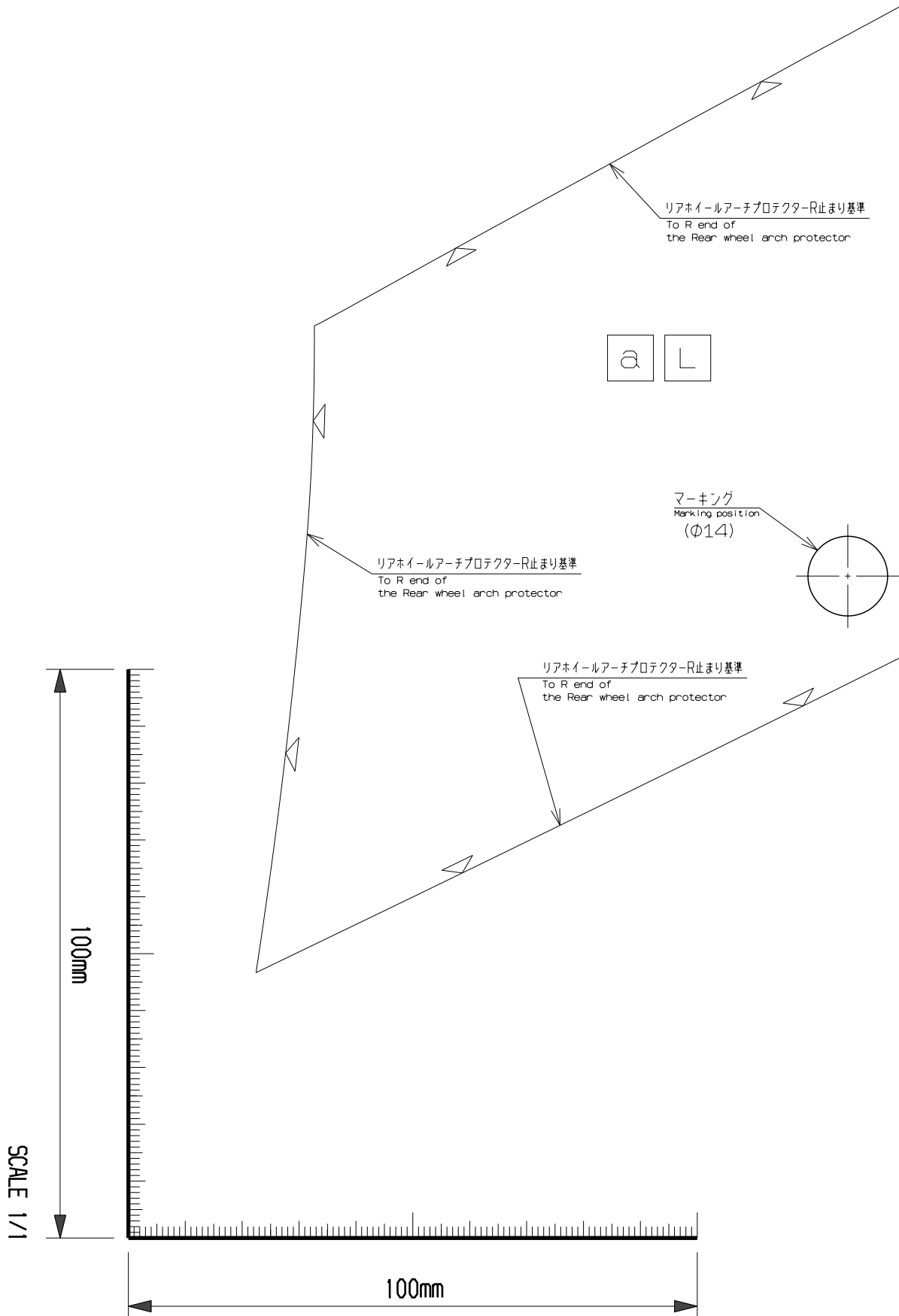
59. 取り付け状態に不良がないことを確認する。

60. 車両をリフト ダウンまたはジャッキ ダウンする。

61. バッテリーのマイナス端子を接続する。(サービス マニュアル参照)

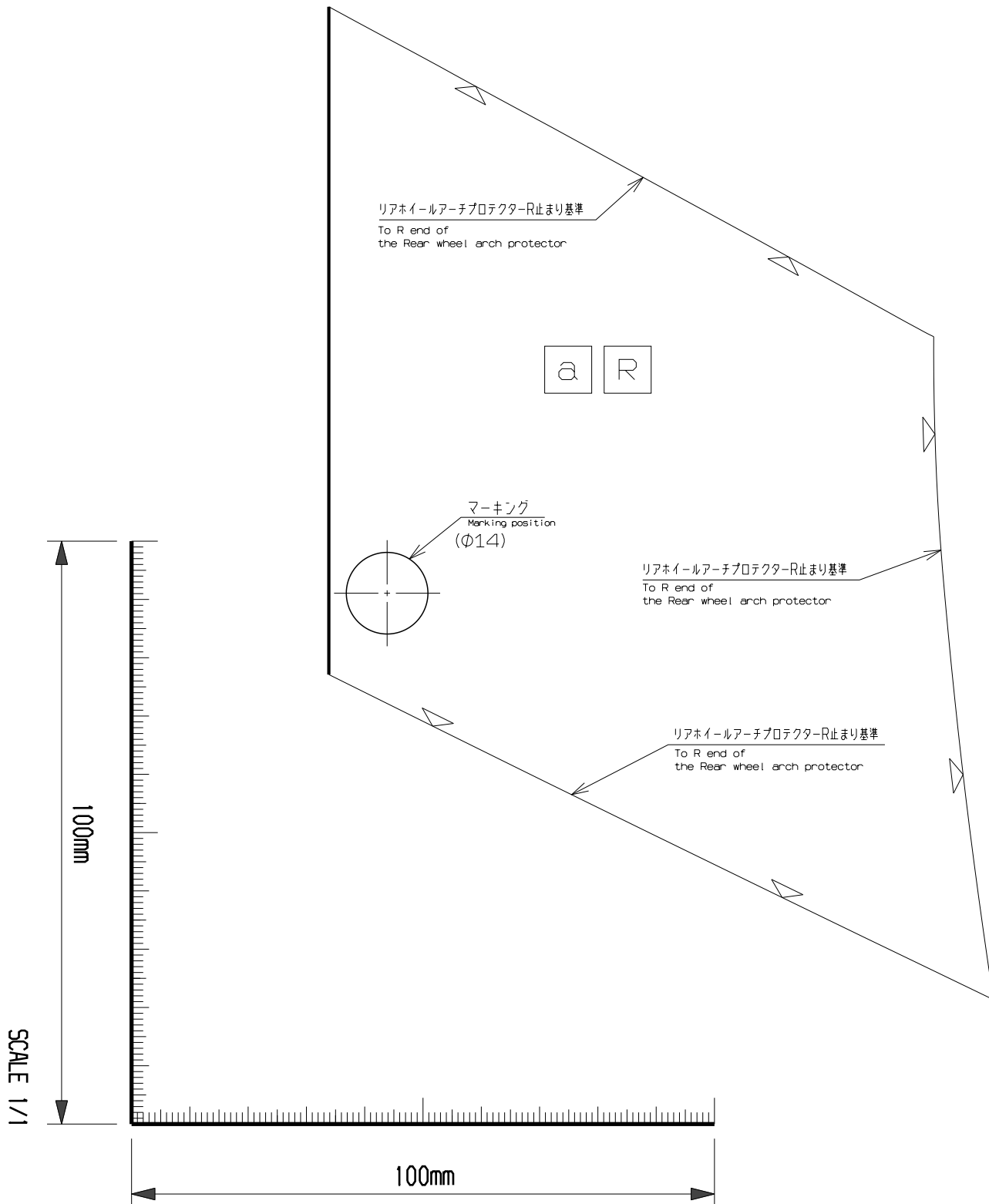
① リアオーバーフェンダー 穴あけ、バンパーカット用型紙
Rear Over Fender template sheet
(74400-XPC -K050)

<注意> 型紙を切る際、刃物で怪我をしないように注意して作業を行うこと。
<NOTICE> Be careful not to cut by yourself when you cut out the template.



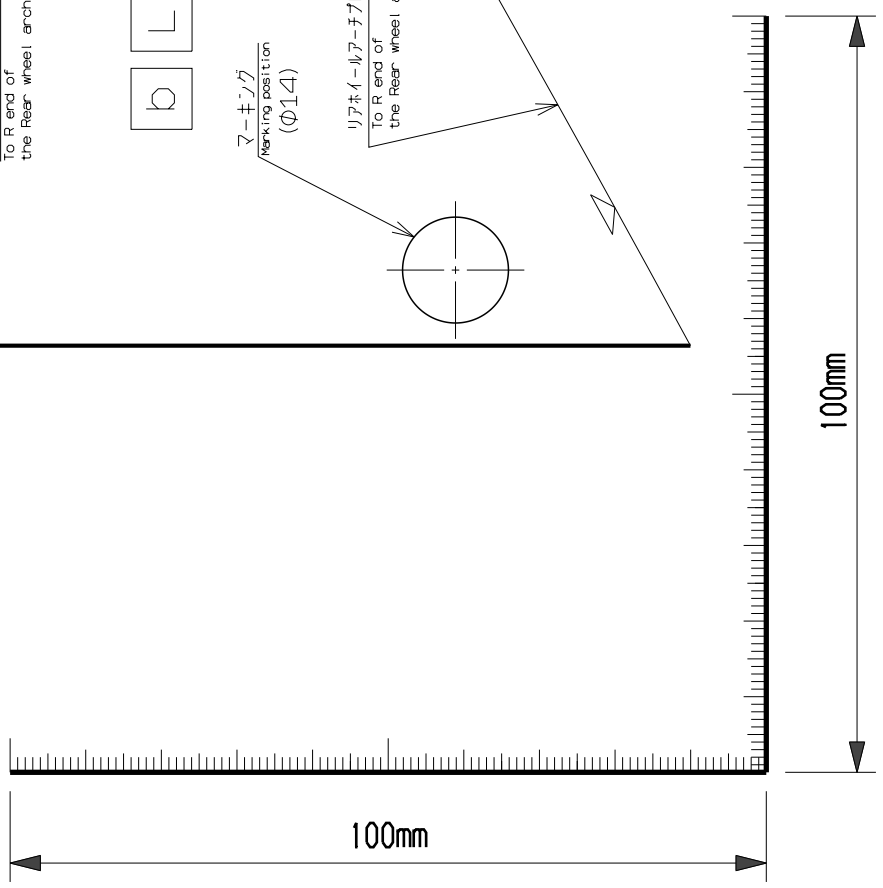
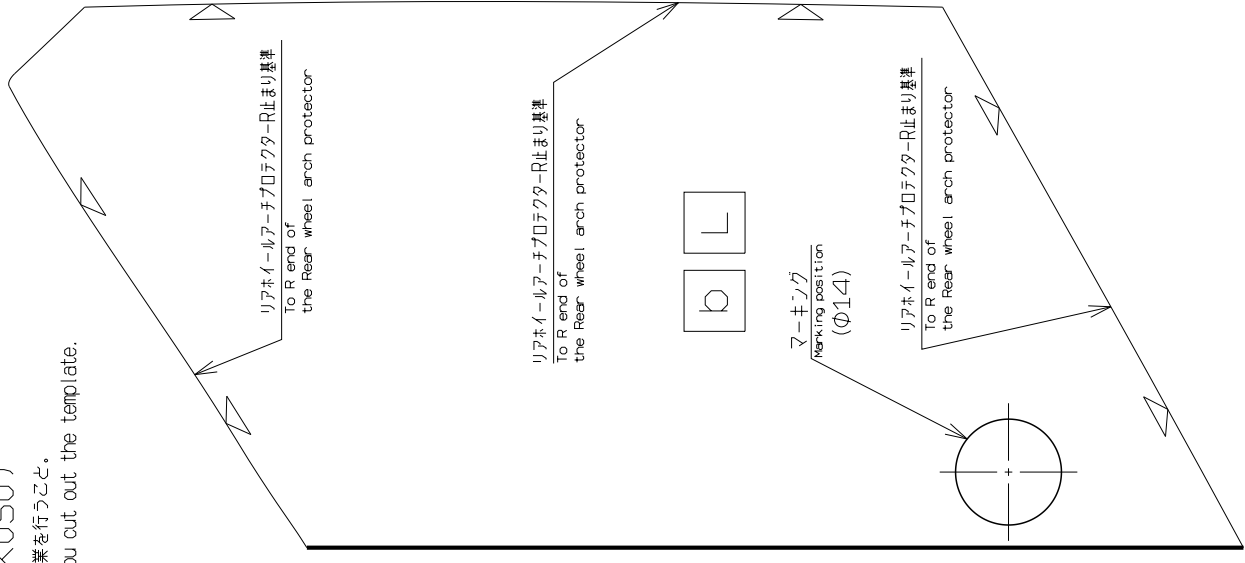
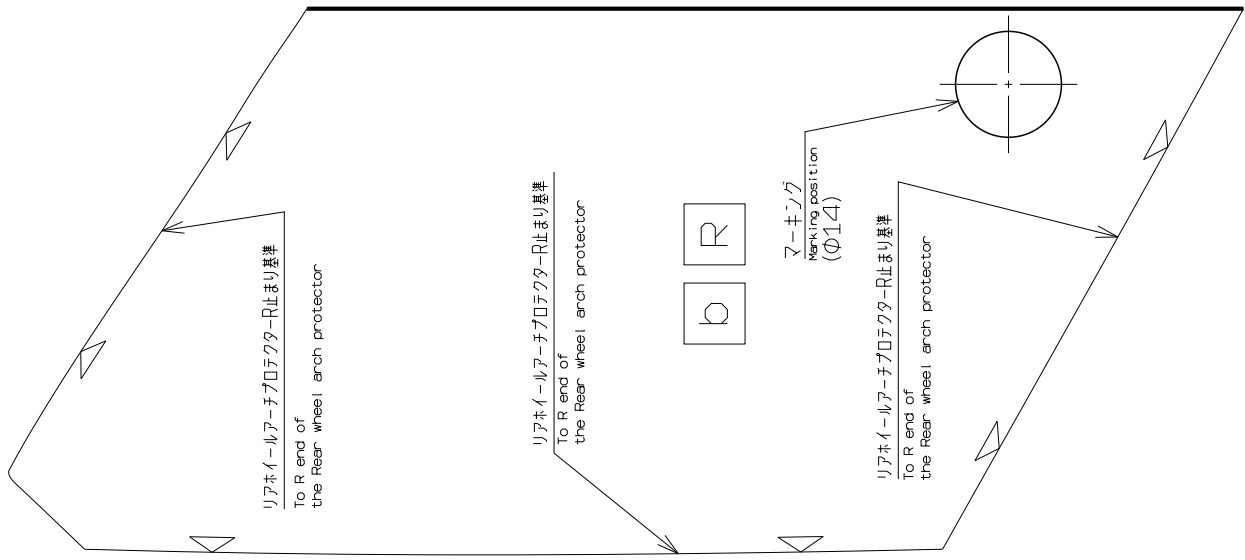
② リアオーバーフェンダー 穴あけ、バンパーカット用型紙
Rear Over Fender template sheet
(74400-XPC -K050)

<注意> 型紙を切る際、刃物で怪我をしないように注意して作業を行うこと。
<NOTICE> Be careful not to cut by yourself when you cut out the template.



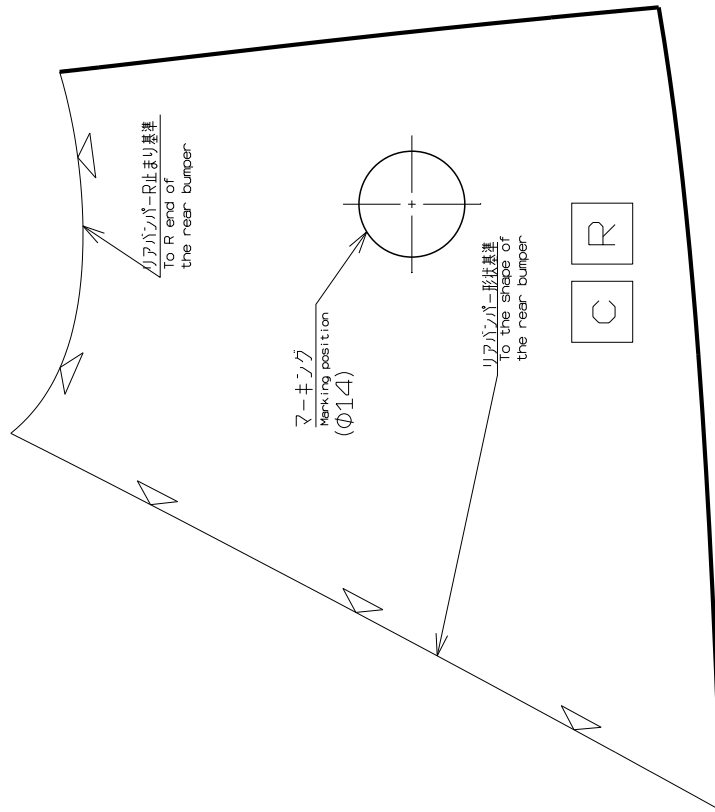
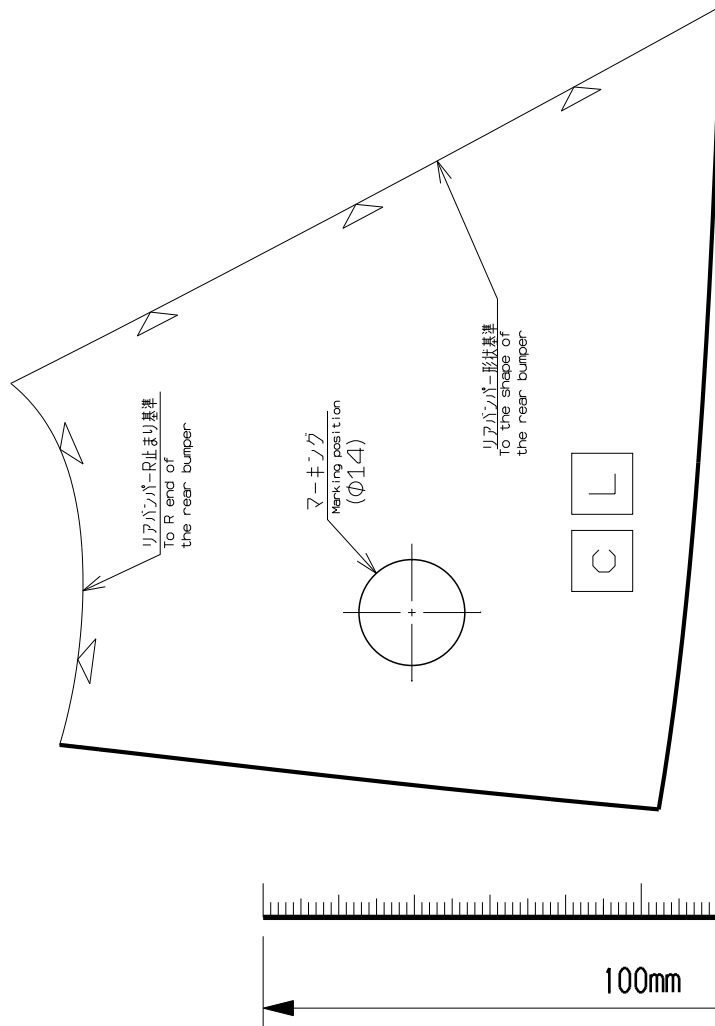
③ リアオーバーフェンダー 穴あけ、バンパーカット用型紙
 Rear Over Fender template sheet
 (74400-XPC -K0S0)

＜注意＞ 型紙を切る際、刃物で怪我をしないように注意して作業を行うこと。
 <NOTICE> Be careful not to cut by yourself when you cut out the template.



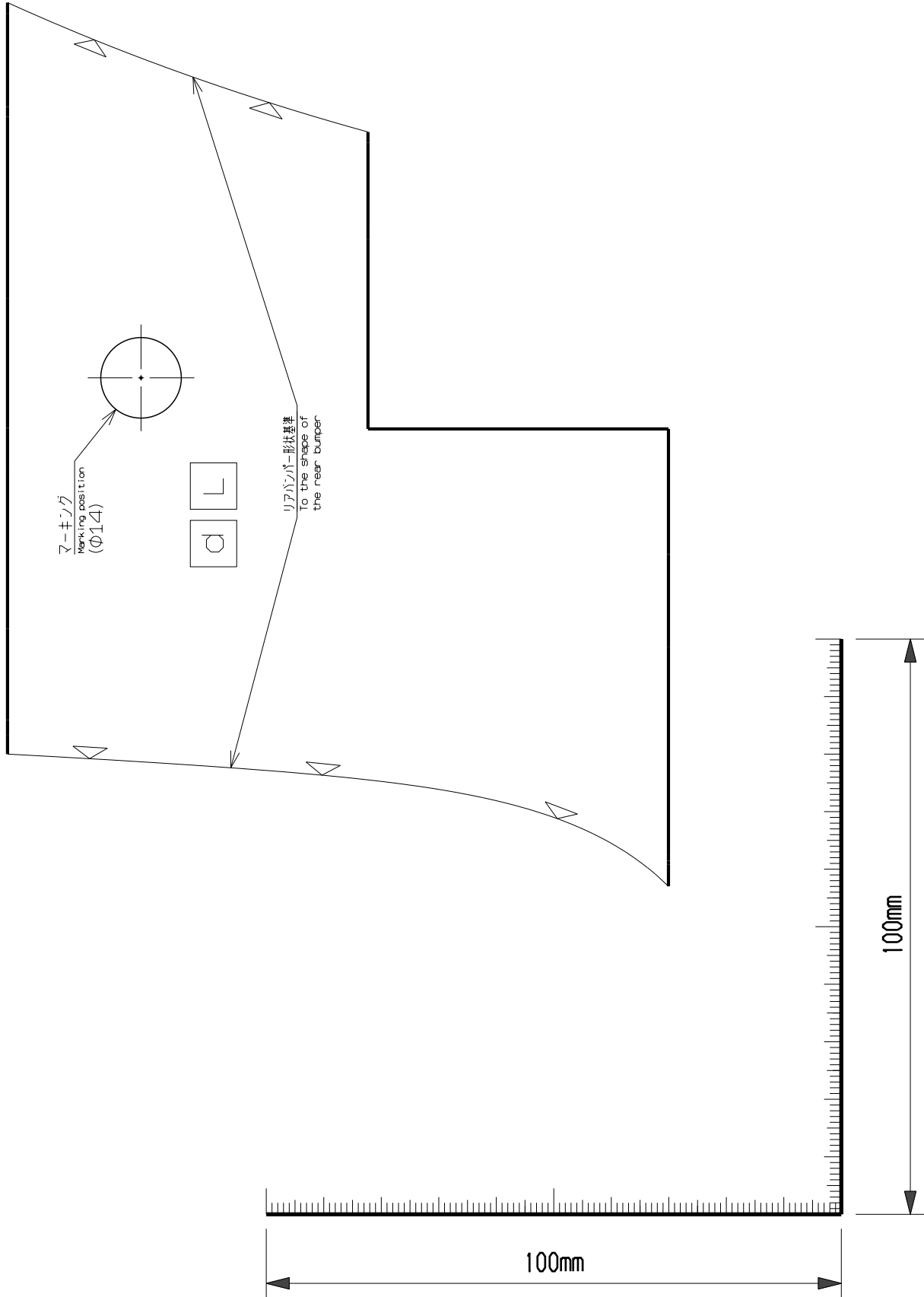
④ リアオーバーフェンダー 穴あけ、バンパーカット用型紙
 Rear Over Fender template sheet
 (74400-XPC -K050)

＜注意＞ 型紙を切る際、刃物で怪我をしないように注意して作業を行うこと。
 <NOTICE> Be careful not to cut by yourself when you cut out the template.



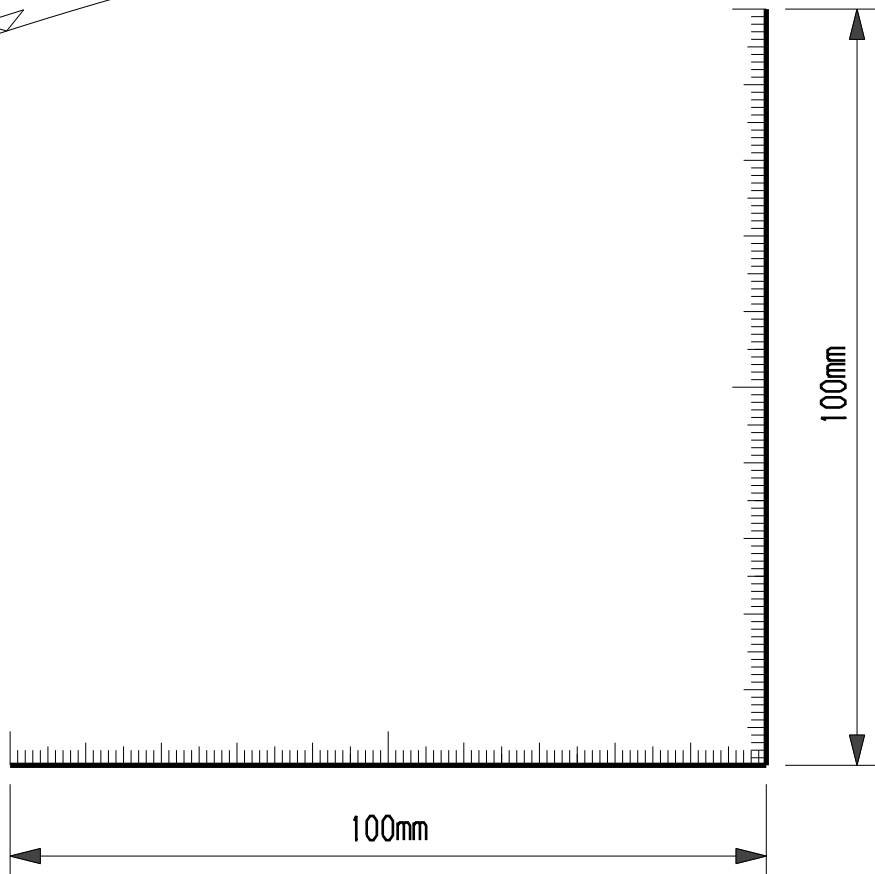
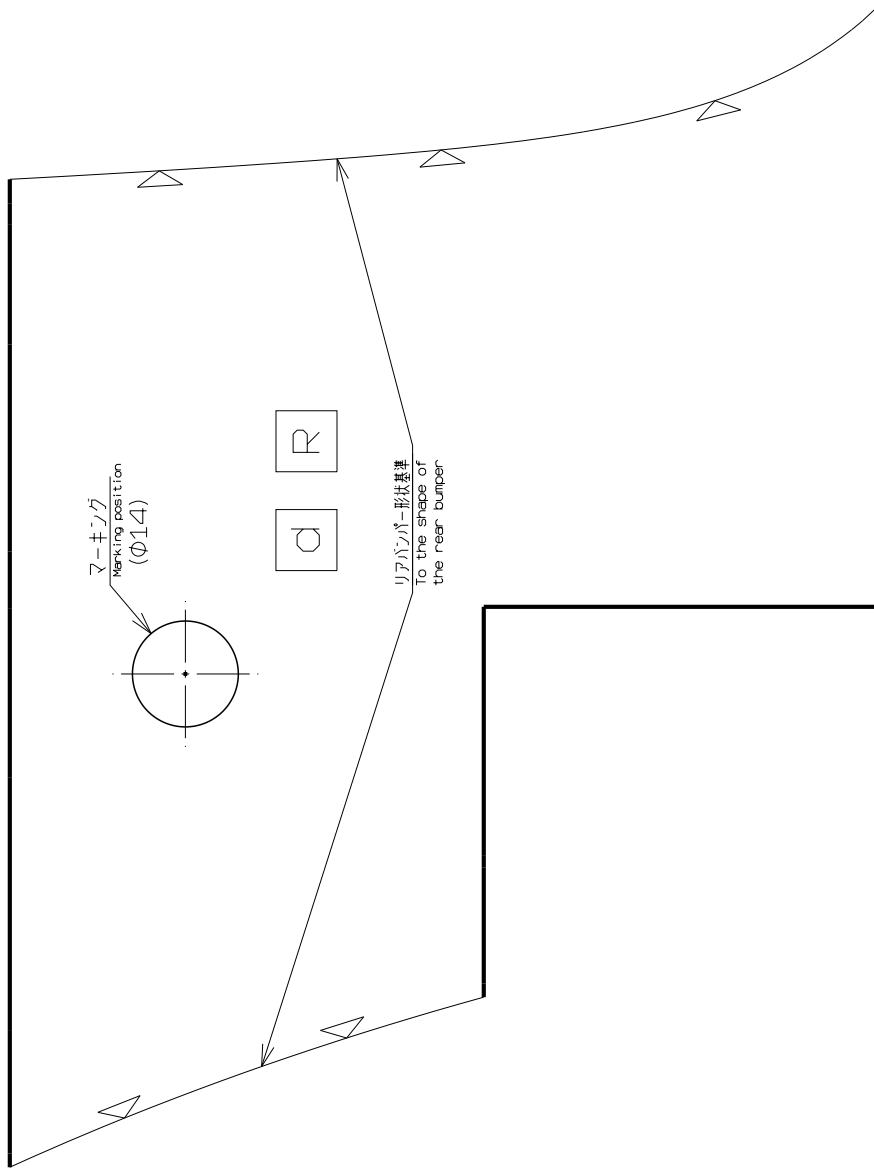
⑤ リアオーバーフェンダー 穴あけ、バンパーカット用型紙
Rear Over Fender template sheet
(74400-XPC -K050)

<注意> 型紙を切る際、刃物で怪我をしないように注意して作業を行うこと。
<NOTICE> Be careful not to cut by yourself when you cut out the template.



⑥ リアオーバーフェンダー 穴あけ、バンパーカット用型紙
Rear Over Fender template sheet
(74400-XPC -K050)

＜注意＞ 型紙を切る際、刃物で怪我をしないように注意して作業を行うこと。
＜NOTICE＞ Be careful not to cut by yourself when you cut out the template.



SCALE 1/1